



# 参加者アンケートの集計結果

点呼セミナー2021（東海電子主催）

「輸送安全規則の解釈の通達」と「指導監督の告示」  
をシステム製品を通して理解する講座（3月度）

東海電子ウェブメディア 運輸安全 JOURNAL 主催点呼セミナー 2021 実務者講座編

安全バイブル ～東海電子のアルコール検知器・点呼システムをお使いのお客様限定～

「輸送安全規則の解釈の通達」と「指導監督の告示」を  
構造的に!!ビジュアルで!! システム製品を通して理解する講座

★ 講座①②③の全3回全て参加で受講票を発行いたします。ご都合のいいお時間でご参加ください。

どんな悩みをお持ちの方にも対応です

- ・運行管理をやっているが、実は知識があいまい
- ・一度体系的におさらいしたい
- ・コロナ法令が変わっていて、じつはついて行けていない
- ・社内の教育担当だが、教材がうまく工夫できない。
- ・飲酒教育の方法がわからない、教材がない。
- ・今度運行管理試験を受ける予定の補助者だが自信がない。

**講座 1** 第20条（運行管理者業務）と3条（過労防止）7条（点呼）

- ・運行管理者の業務を「円グラフ」にする ・対面？IT？共同？点呼は何種類あるか？
- ・行政処分の重さクイズ ・IT点呼、OK NG クイズ
- ・演習：点呼システムに点呼項目を入れることで7条を理解する
- ・演習：IT点呼申請書を書いてみる

**講座 2** 第20条（運行管理者の業務）と9条（運転者台帳）&10条（指導監督）

- ・運転者台帳とe文書法について
- ・ズバリ、ドライバーの平均年齢は？
- ・演習：実際に、クラウド運転者台帳をつかひながら9条を理解する
- ・教育実施の結果を、クラウド運転者台帳に保存してみる。

**講座 3** 第20条（運行管理者の業務）と飲酒運転防止教育の手法と教材について

- ・指導及び監督の告示と飲酒教育の関係 ・演習：飲酒者マップ
- ・演習：アルコール飲料の濃度計算 ・演習：スクリーニングテストの実施方法
- ・アルコール依存症について
- ・アルコールとメンタルヘルスについて

開催日程	講座 1	講座 2	講座 3
1週目 午後開催 13:30～15:00	3/8（月）	3/10（水）	3/12（金）
2週目 午前開催 10:30～12:00	3/15（月）	3/17（水）	3/19（金）
3週目 夜間開催 18:30～20:00	3/22（月）	3/24（水）	3/26（金）

■プレゼンター

飲酒運転防止インストラクター 運行管理者（貨物） 杉本 哲也

飲酒運転防止インストラクター 運行管理者（貨物） 松本 剛洋

飲酒運転防止インストラクター 運行管理者（客貨物） 中山 春美

飲酒運転防止インストラクター 運行管理者（貨物） 鈴木 善郎

「東海電子 セミナー」で検索いただくか、  
QRコードから参加登録をお願いいたします。

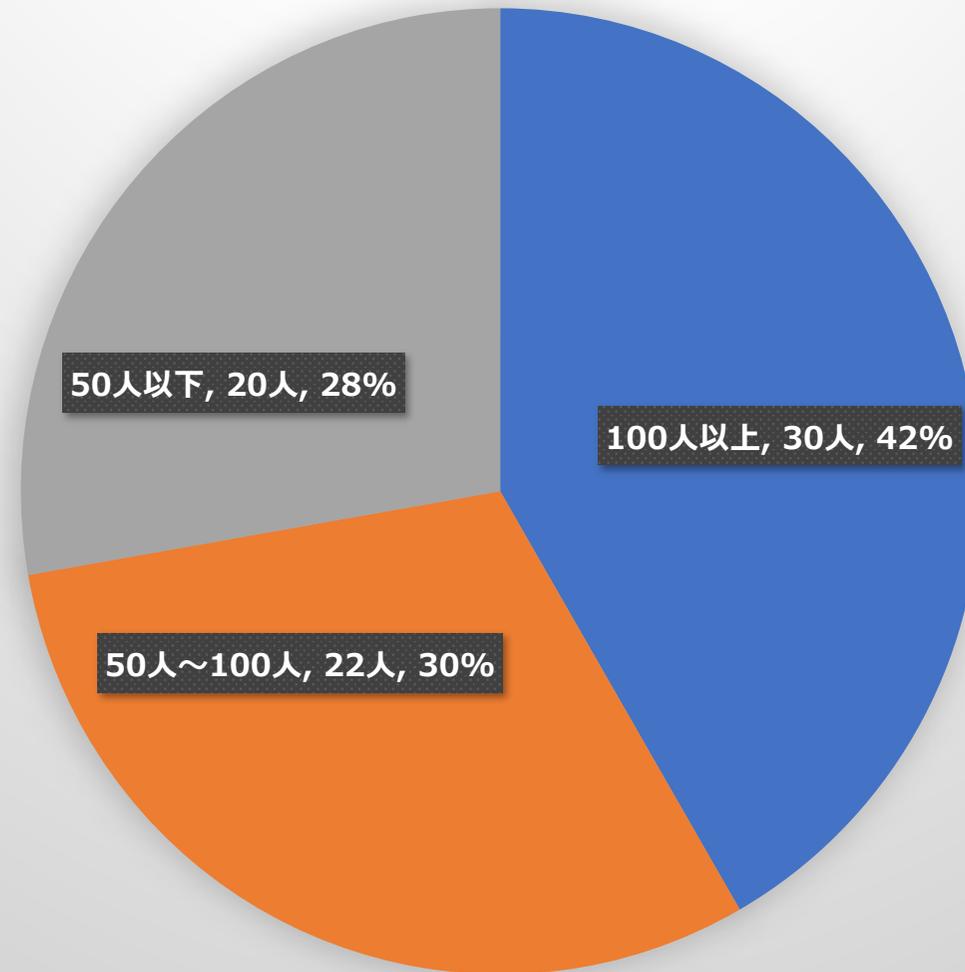
参加費：無料

開催方法：ZOOMで行うオンライン形式  
参加登録：東海電子HPから登録可能です。

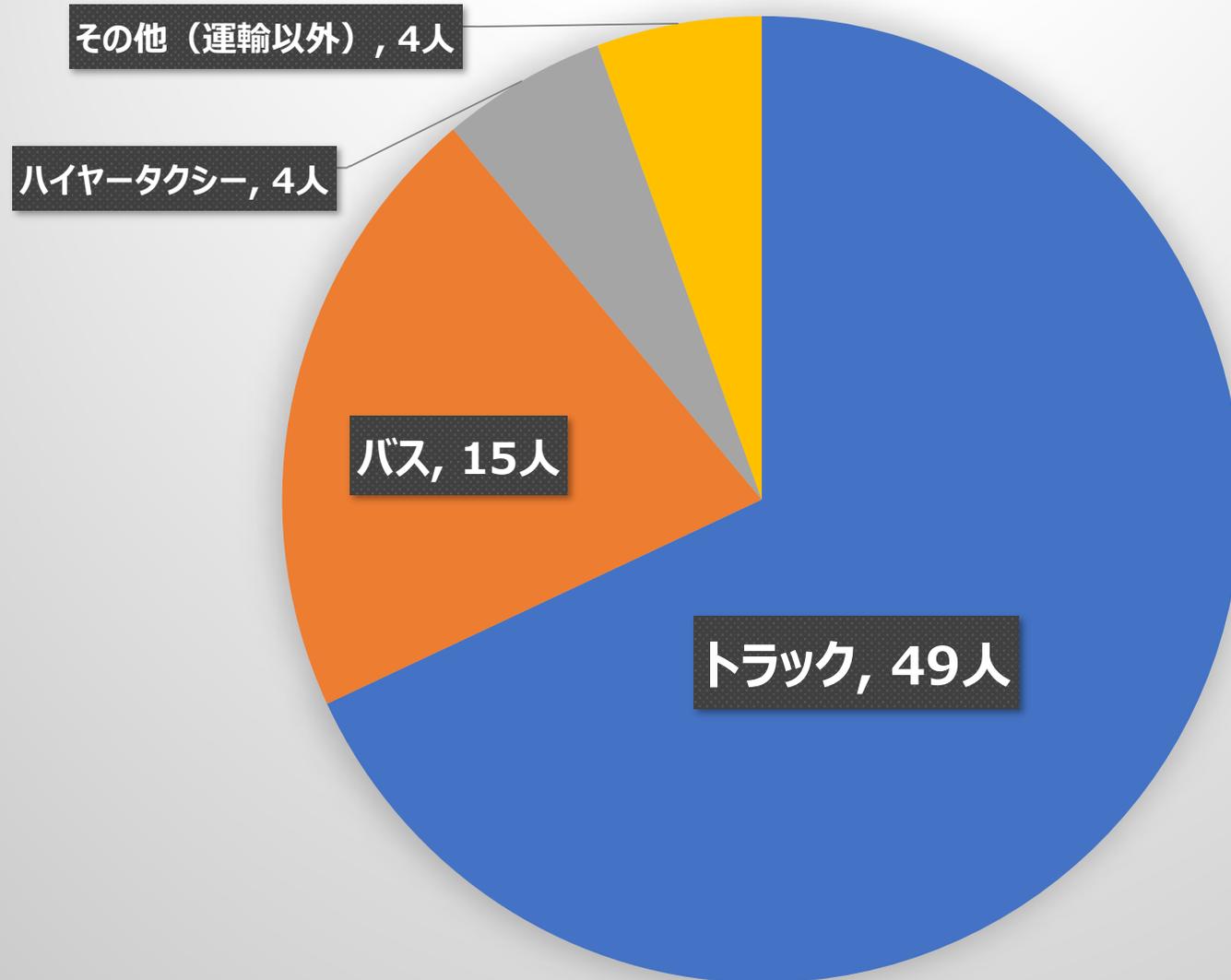
東海電子 セミナー Q 検索



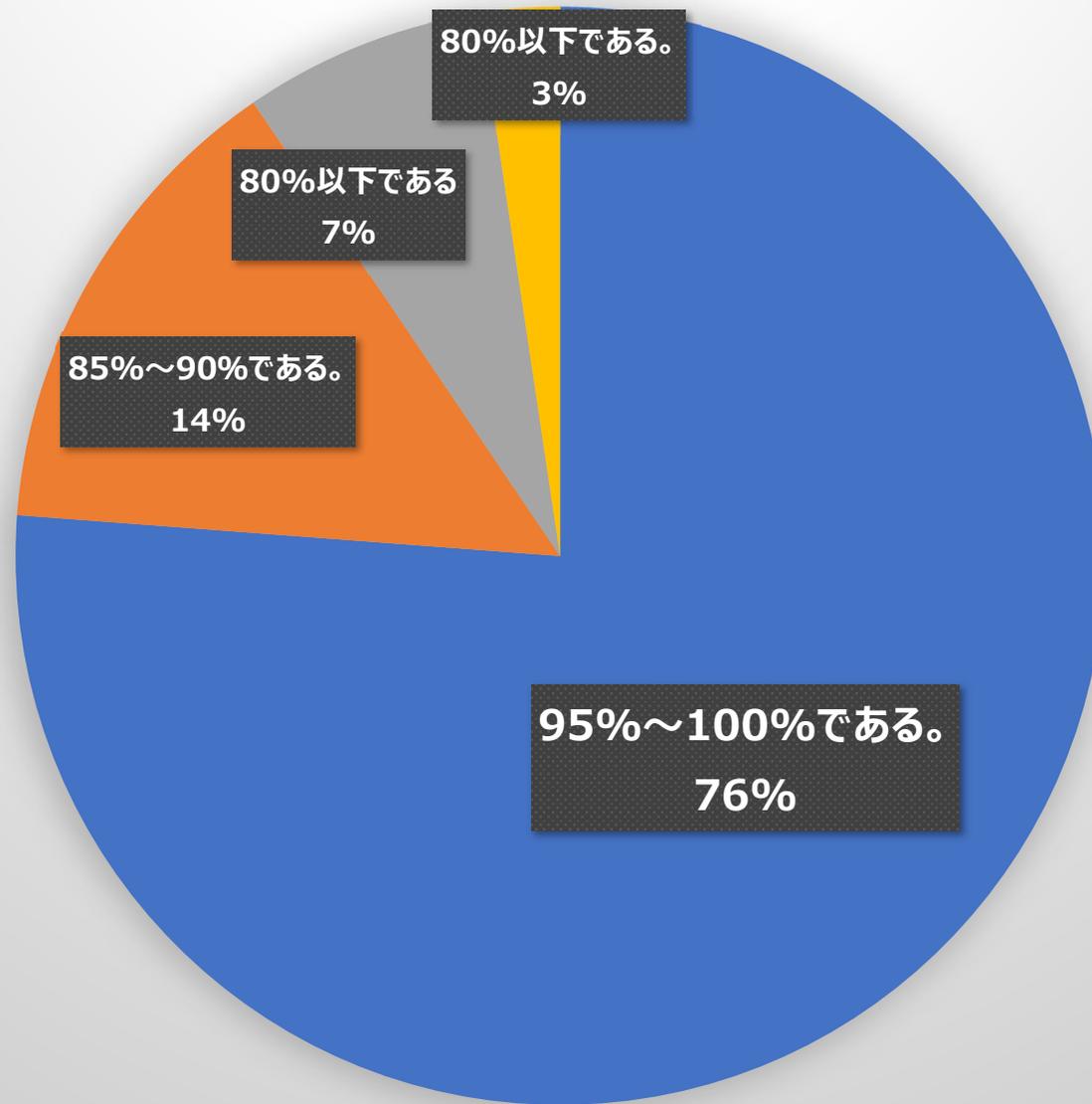
## 講座参加者（企業規模別）



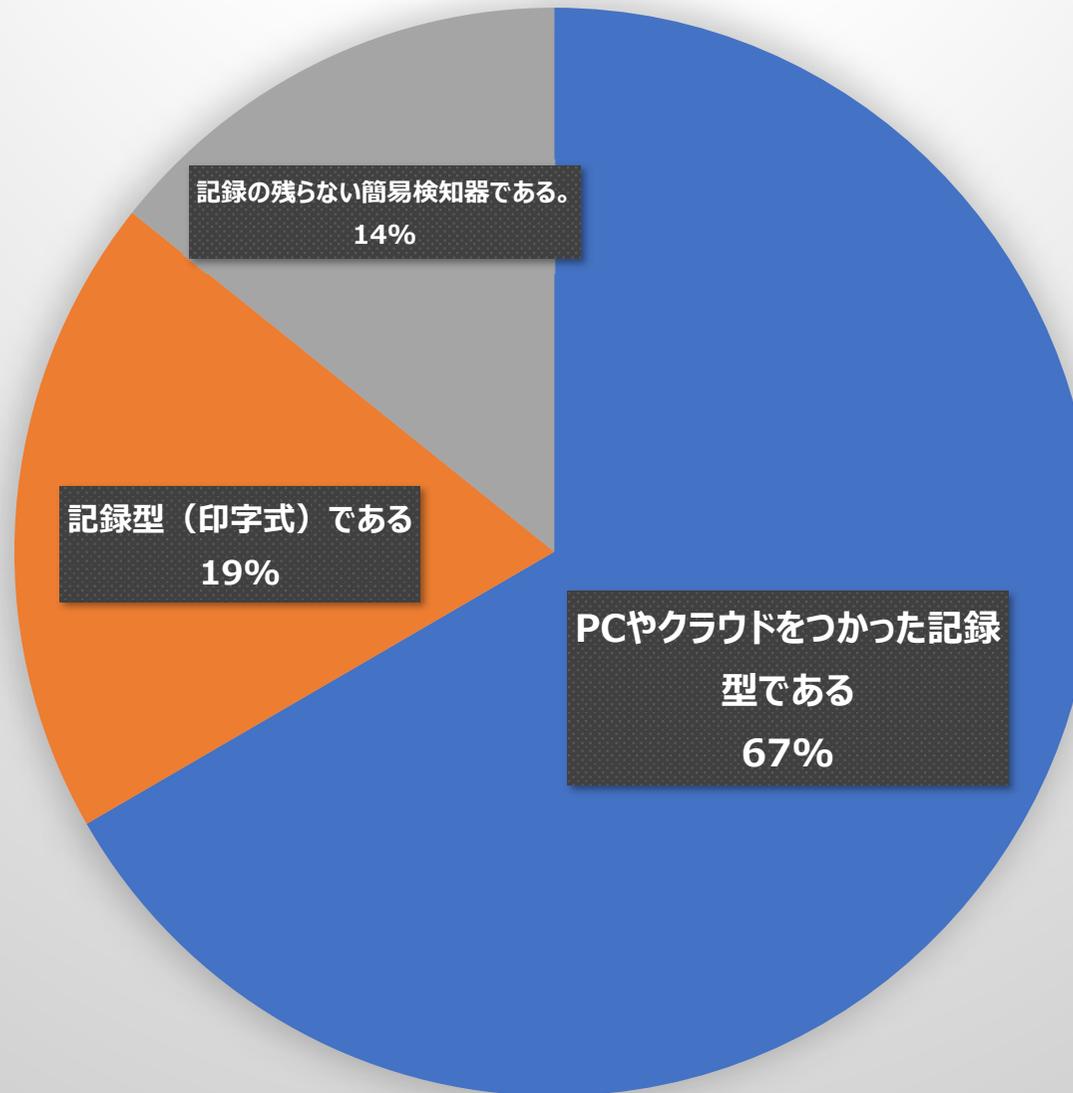
## 講座参加者（業種）



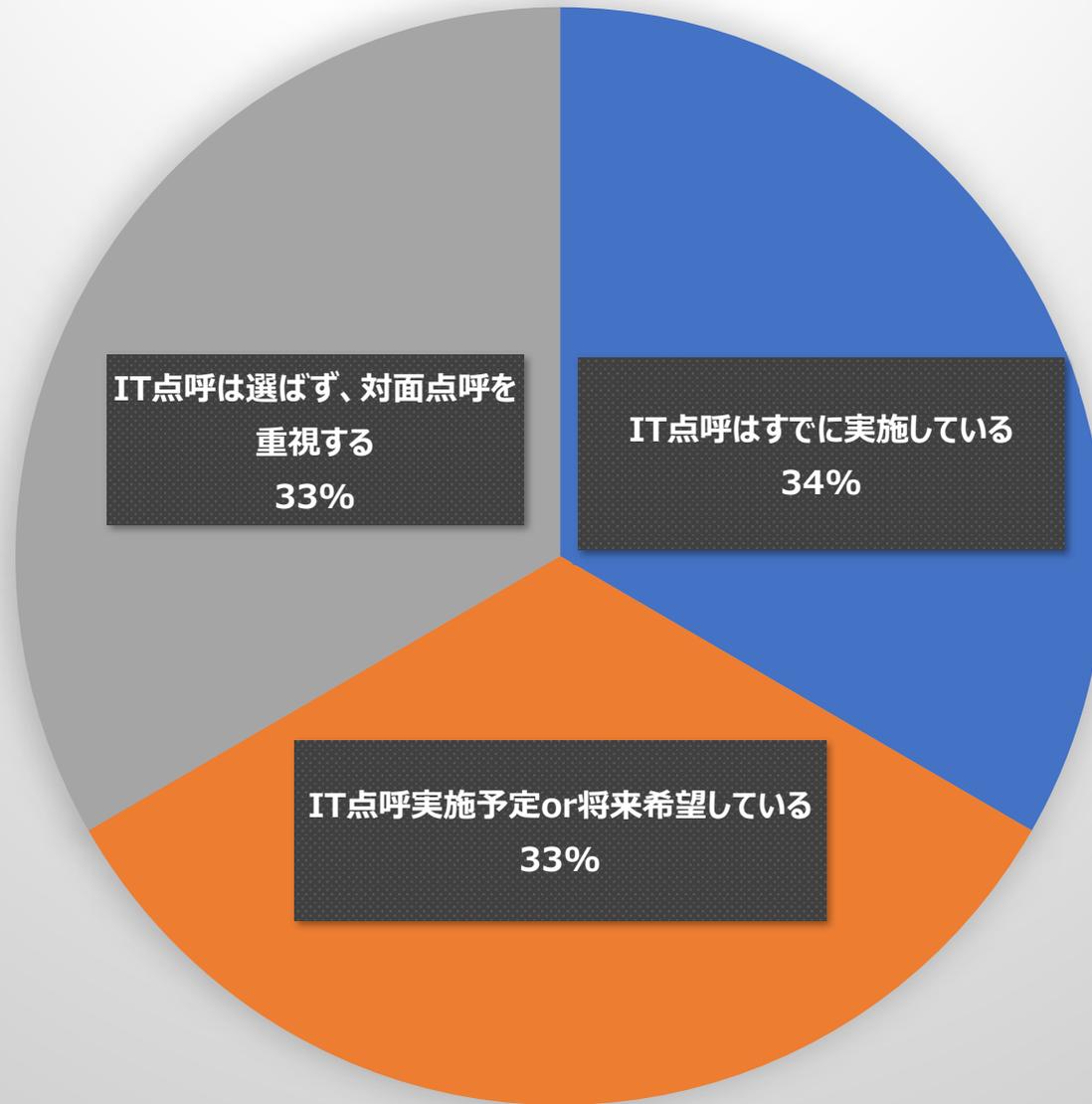
## 御社の点呼実施率をお聞かせください



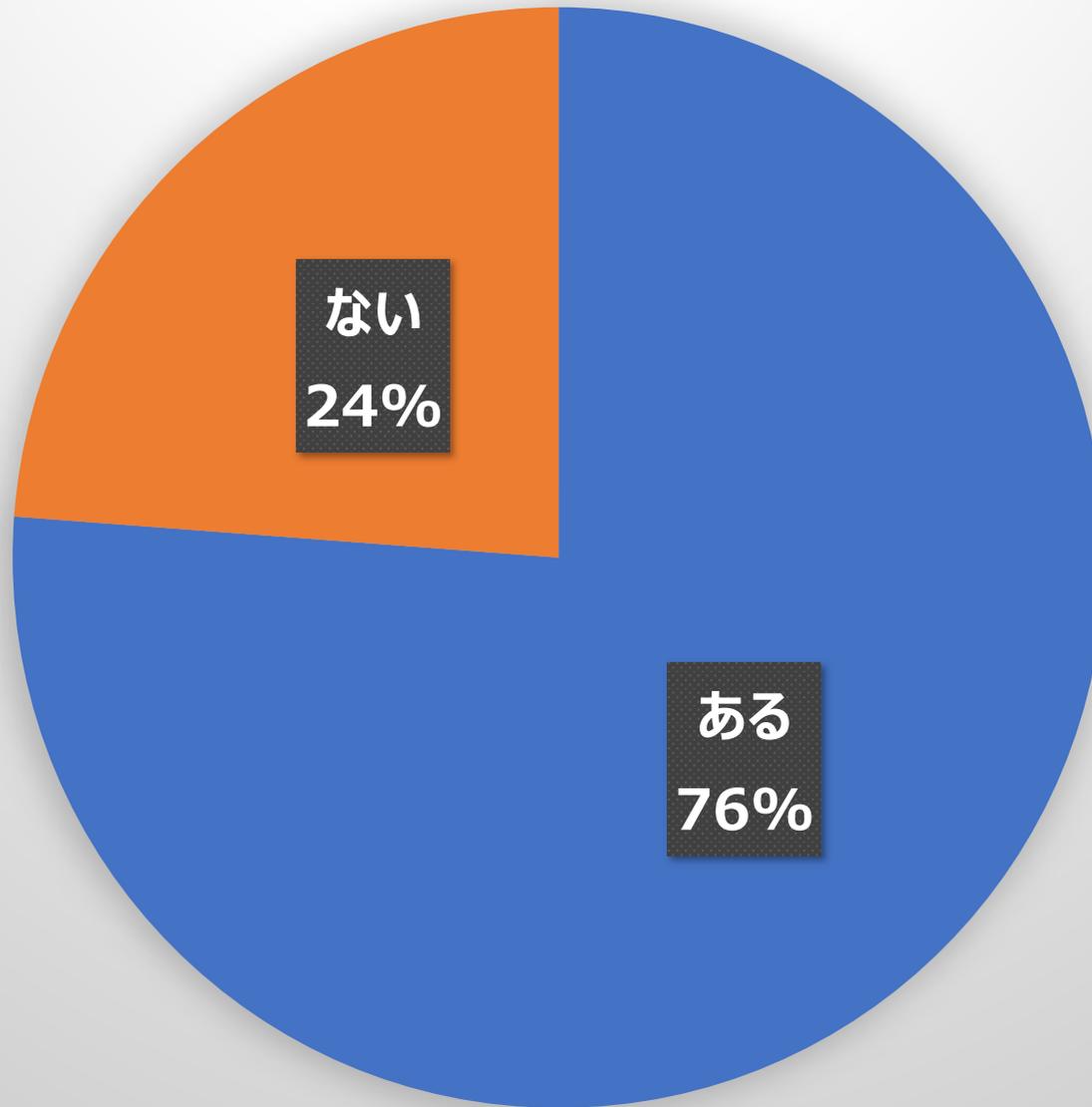
## アルコール検知器はどんなタイプをお使いですか



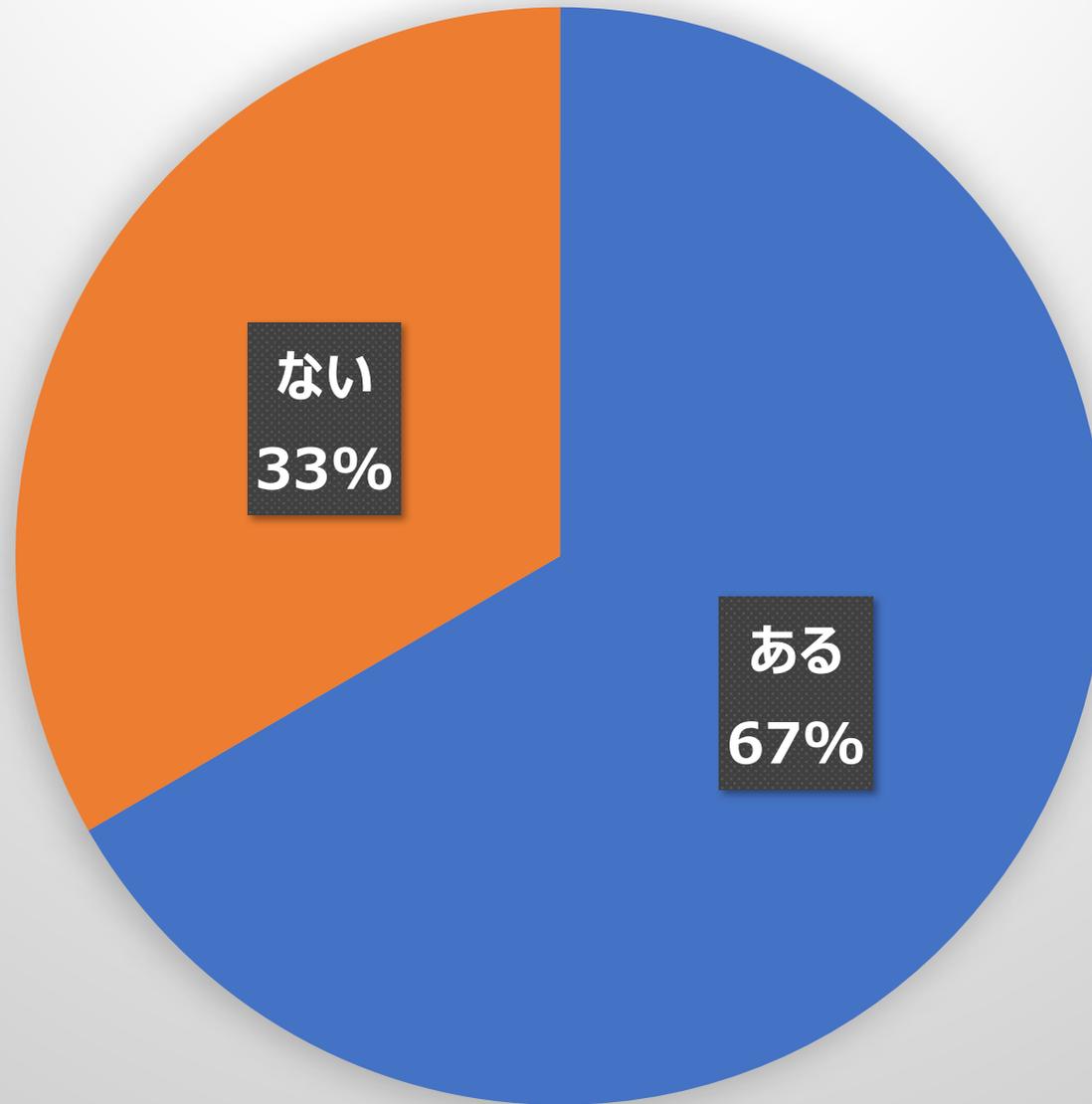
## IT点呼の実施状況について



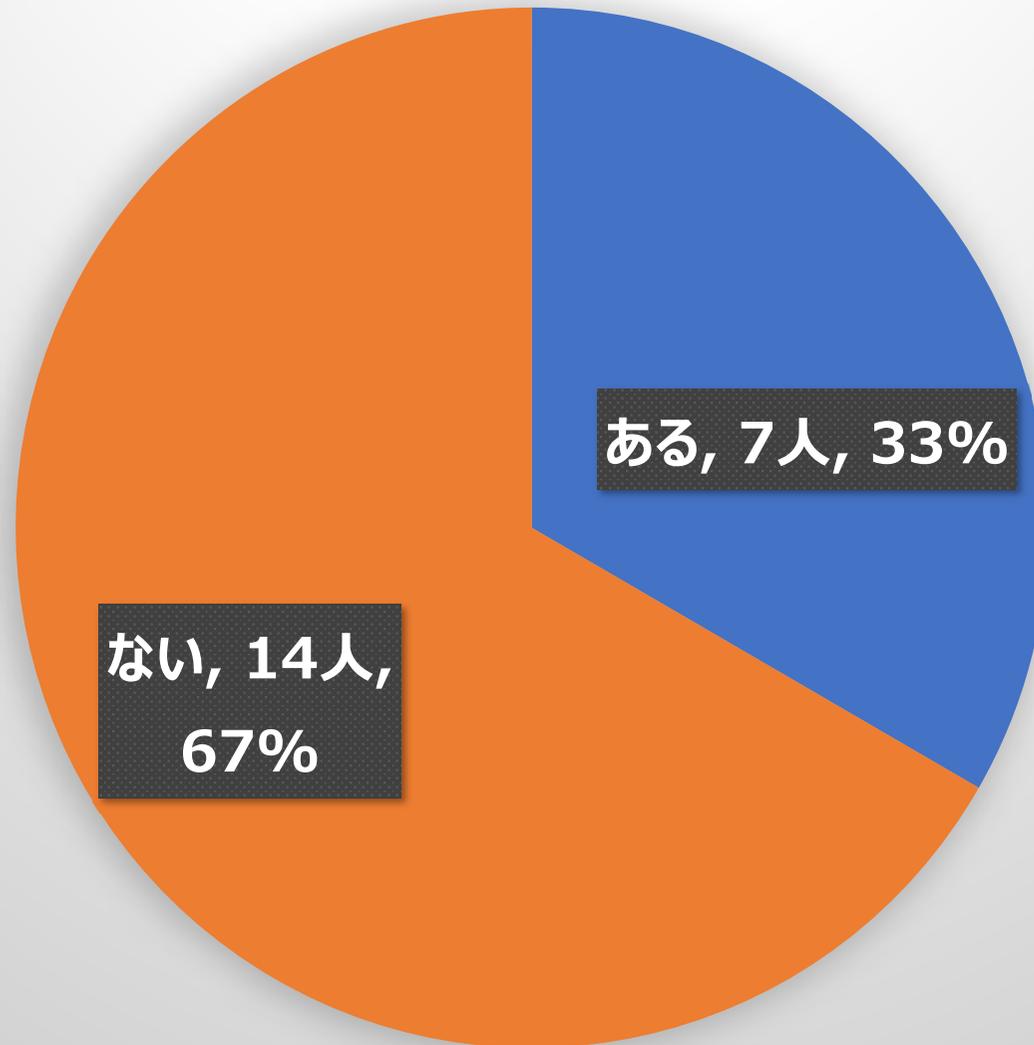
営業所が運輸局の監査を受けたことはありますか？



ご自身が監査対応を経験したことはありますか？



## 行政処分を受けたことがありますか？



## 行政処分を受けたときの理由

---

点呼未実施

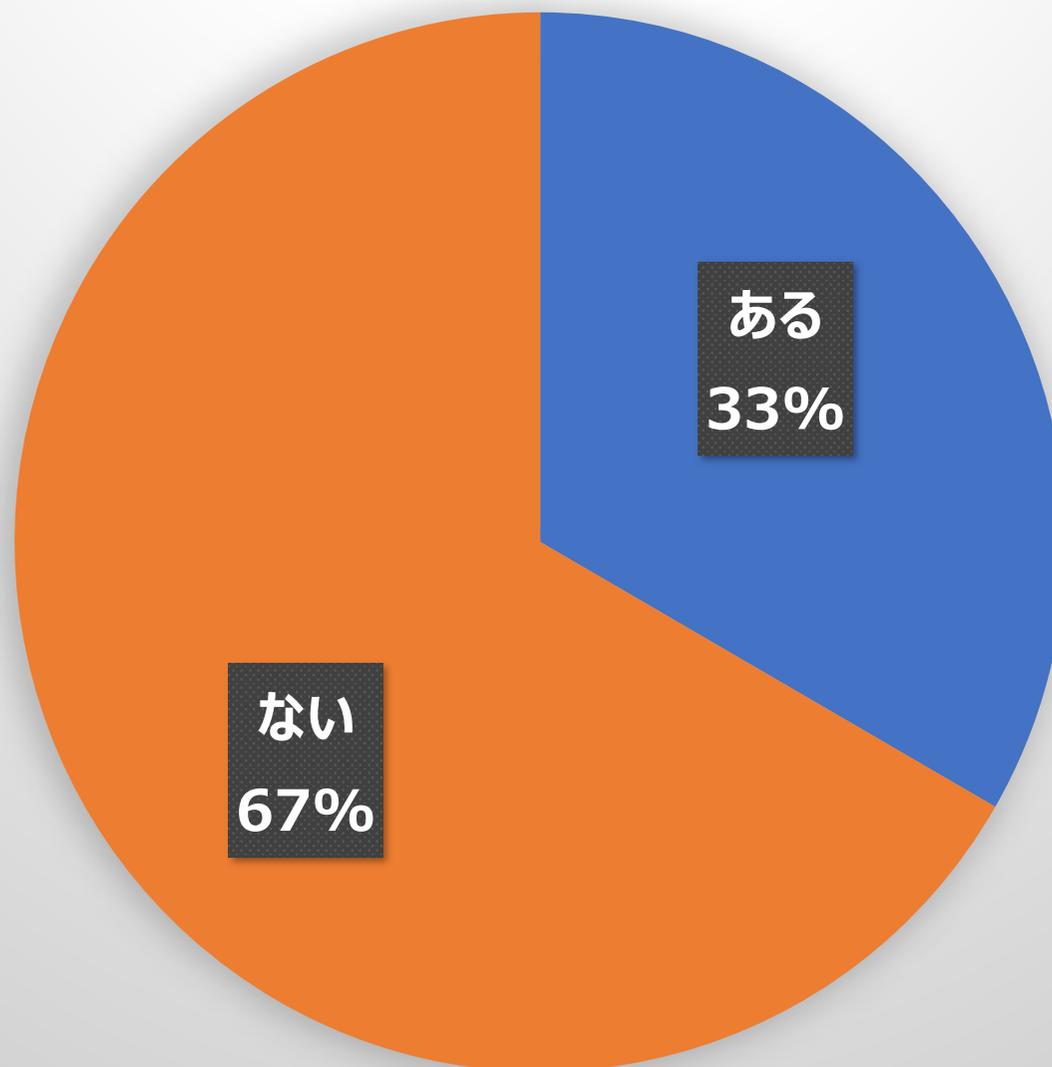
車両停止10日車 警告

点呼不充分

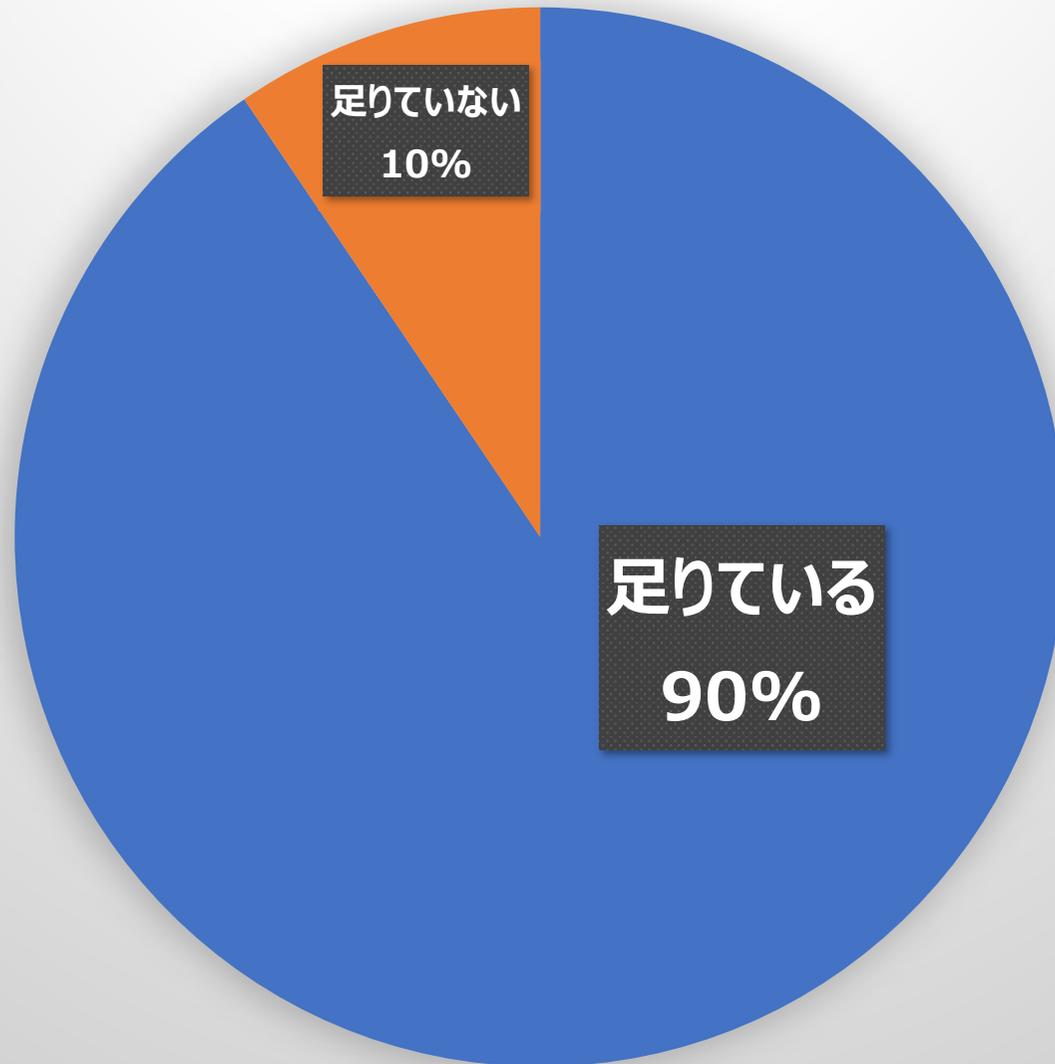
健康診断で、必要項目受診しなかった

---

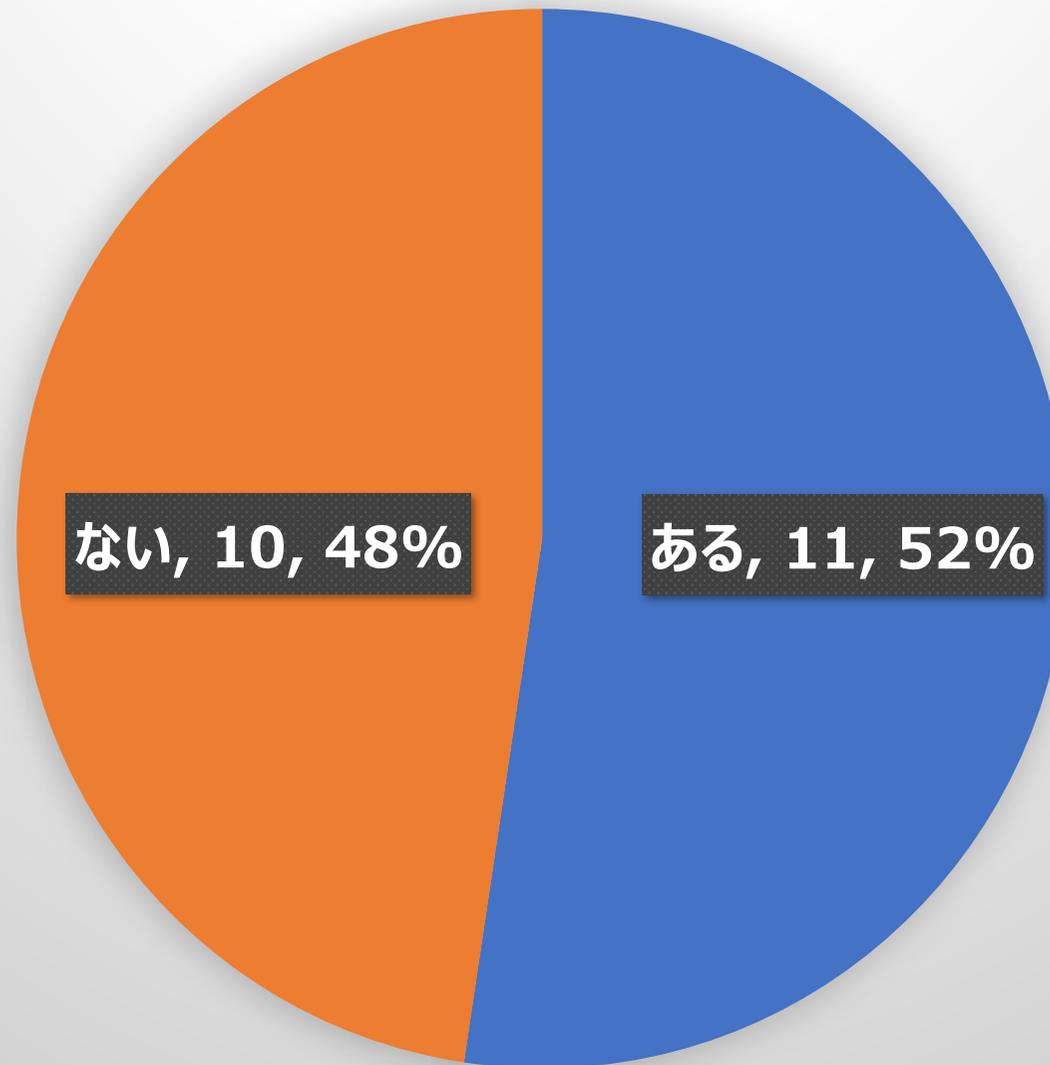
正直、点呼記録簿をかいざん（未実施を実施に、時刻の修正等）した経験がある



## 運行管理者は足りていますか？



選任運行管理者であることの給与手当がありますか？



## 運行管理者手当の金額を教えてください

---

¥3,000

¥5,000

¥3,000

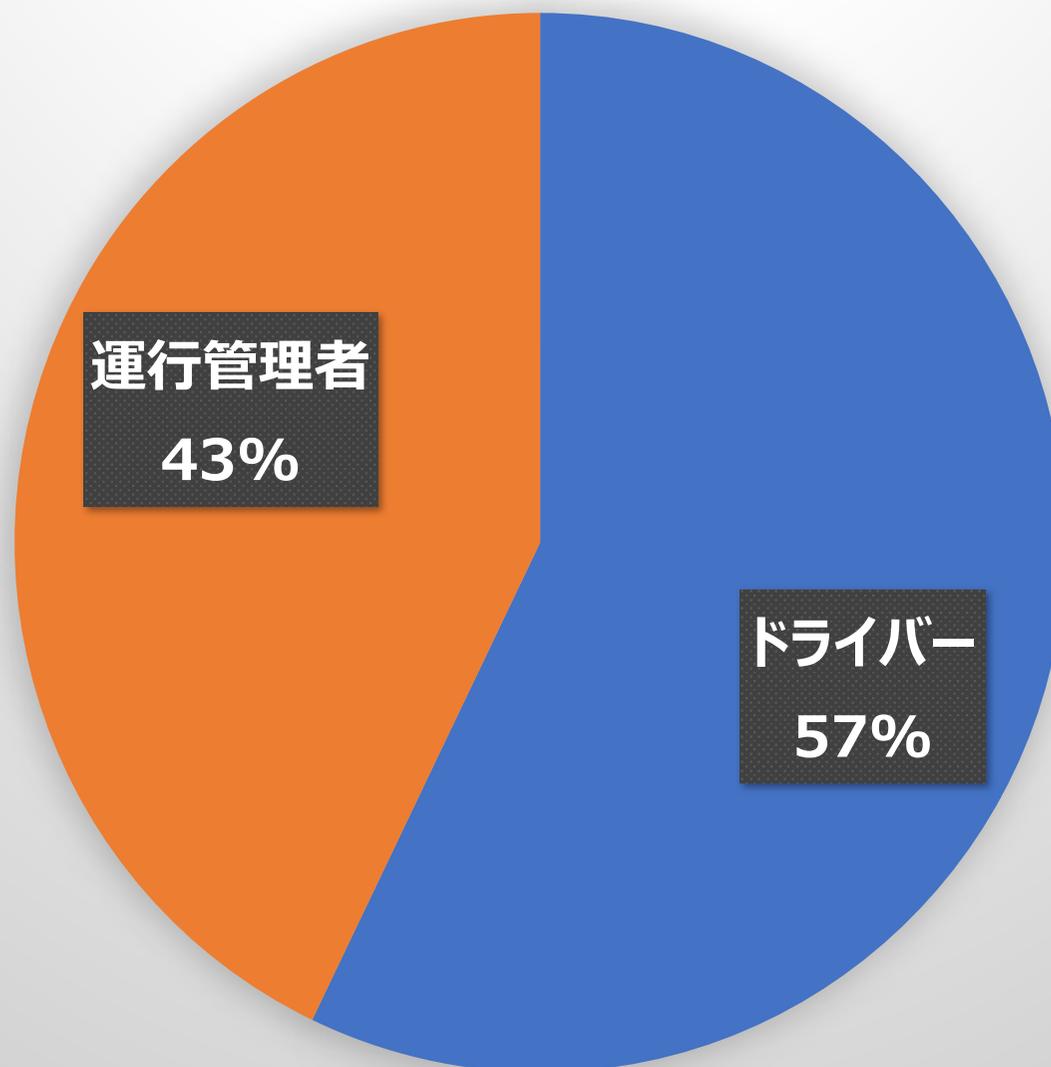
¥10,000

¥20,000

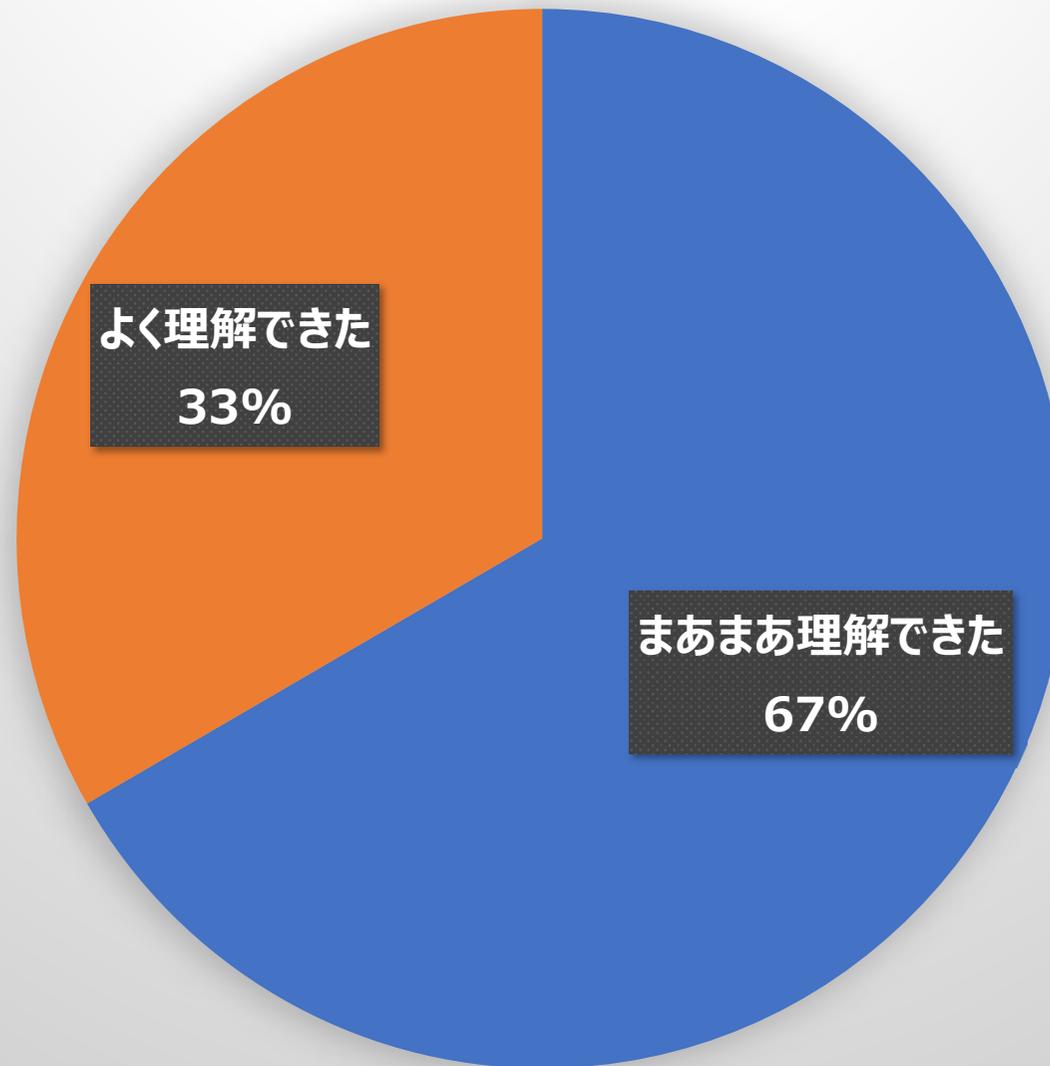
1万円以下

---

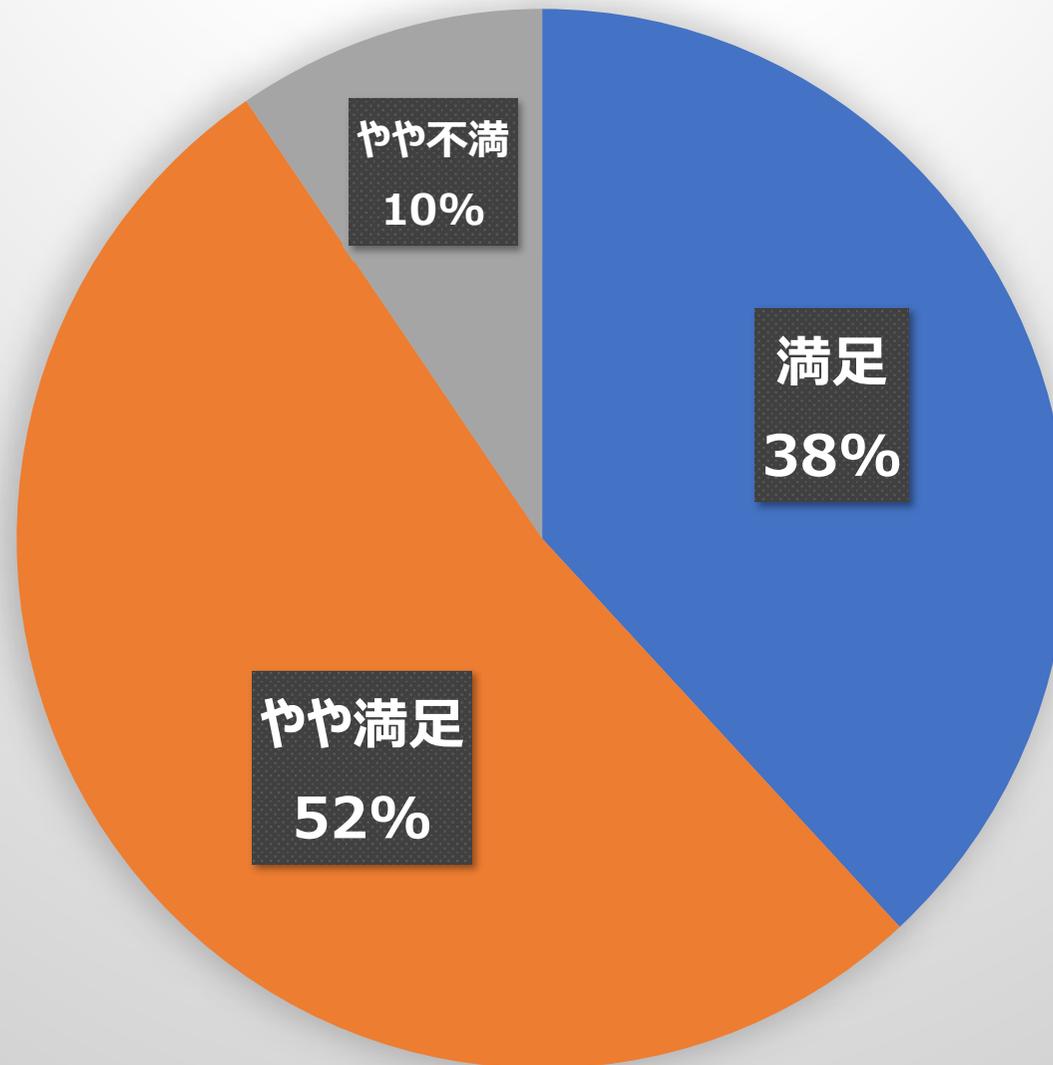
残業時間（拘束時間）が多いのはどちら？



講座を通じてIT点呼の規則について理解できましたか？



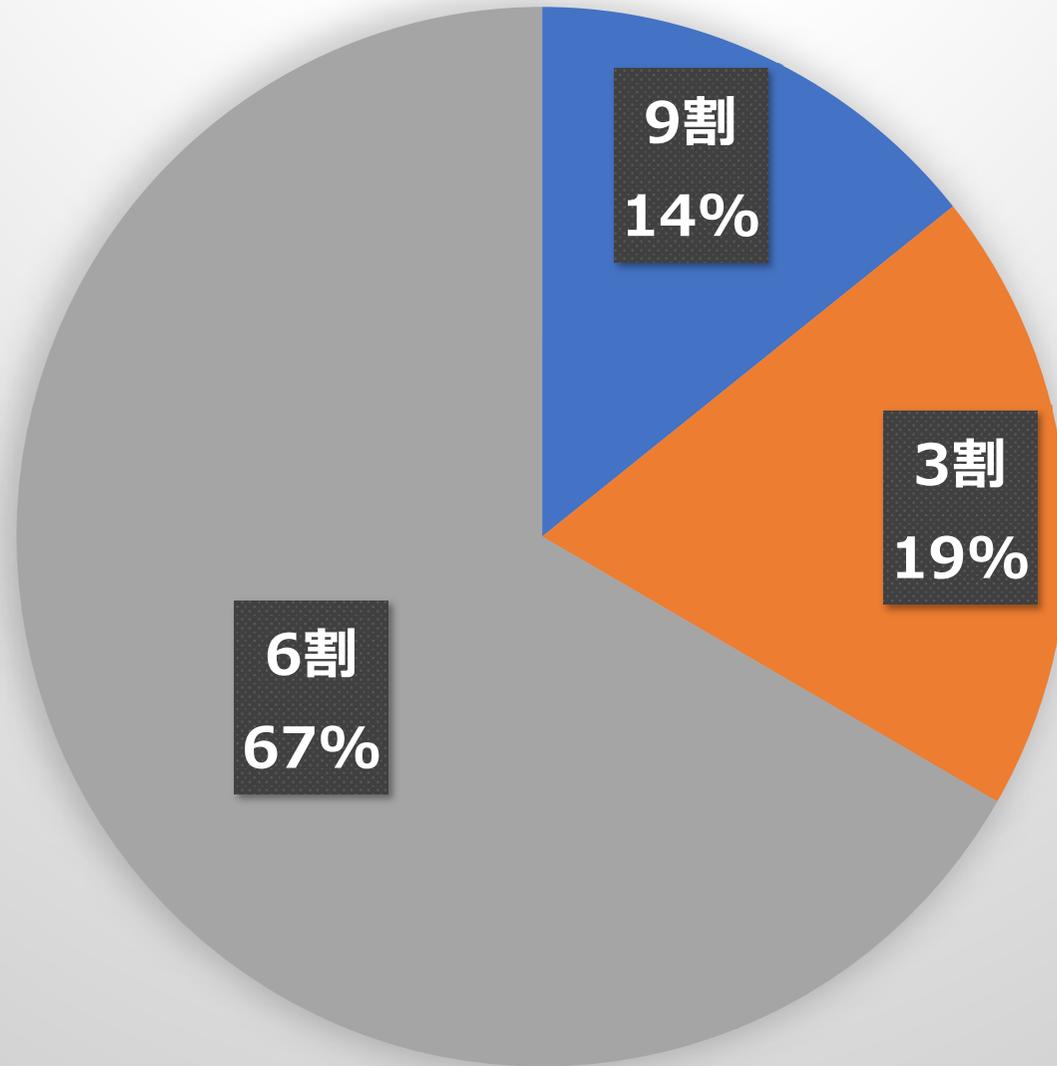
## 講座1 運行管理者20条と点呼7条 全体を通してのご感想は？



## 講座1～講座3 ご意見ありがとうございました。

<b>講座1</b> <b>(運行管理者20条と、過労運転防止3条、 点呼7条 )</b>	<b>講座2</b> <b>(運行管理者20条と、運転者台帳9条と 指導監督10条)</b>	<b>講座3</b> <b>(運行管理者20条と、指導監督10条 飲酒基礎講座)</b>
貨物以外の業種のIT点呼の対応について説明が欲しかった(乗用)	レジュメの配布を行って欲しい。	判りやすい説明で良かったです。スクリーニングについてもう少し詳しい情報があれば良かった。
せっかくの実演ですがトラブルが非常に残念です。	再確認することができた	私も 以前は 飲酒しておりましたが 断酒は 難しいので統計的なのは納得です。
行政処分クイズが面白かった。乗務員教育でも使ってみようと思った。	内容説明はわかりやすく理解できました。	今後の教育資料に活用していきたいです。
トラックが中心でタクシー業者にはあまり参考にならない部分があった。	ありがとうございました	内容は良いと思うが、講師の声が聞き取りにくかった。
ありがとうございました。	やはり、手間とツール、お金?(人・物・金)をかけたかかないと継続的に実施できないし、効果が見えてこない状況。	ドライバーのみならず全社員教育を、ということが印象的でした。
	国土交通省のマニュアル バス事業者用の購入方法を教えてください	気軽に飲酒しておりましたが、「毒」と聞くと気になりますね!まずは、1単位/日を基本にして、休館日2日/週を啓蒙したいと思います。私自身も?
		今後の毎月行っている安全会議やドライバー教育に生かしていきたいと思います。
		通信状況が悪く、聞き取りにくい部分があった。アルコールの知識より、もう少し酒気帯び運転防止に関する方策に時間を割いて欲しい。 自家用通勤者が家を出る前にチェックできるようなエビデンスが残せるタイプの携帯型ALCチェッカー(安価なもの)の提案が欲しい

5年間無事故無違反ドライバー率はどれくらいでしょうか？



## 「5年間無事故無違反ドライバー」に關しまして 御社の現状お聞かせください。（例：違反者はここ数年減少している等）

---

確実に 減少しております。

違反者の数は減少傾向

軽微な違反があり、無事故無違反を逃している傾向がある。

横ばい

会社車両での無事故・無違反は9割をこえますが、自家用車での違反を加えると9割を下回っているのではないかとされます。

6割

変化有りません

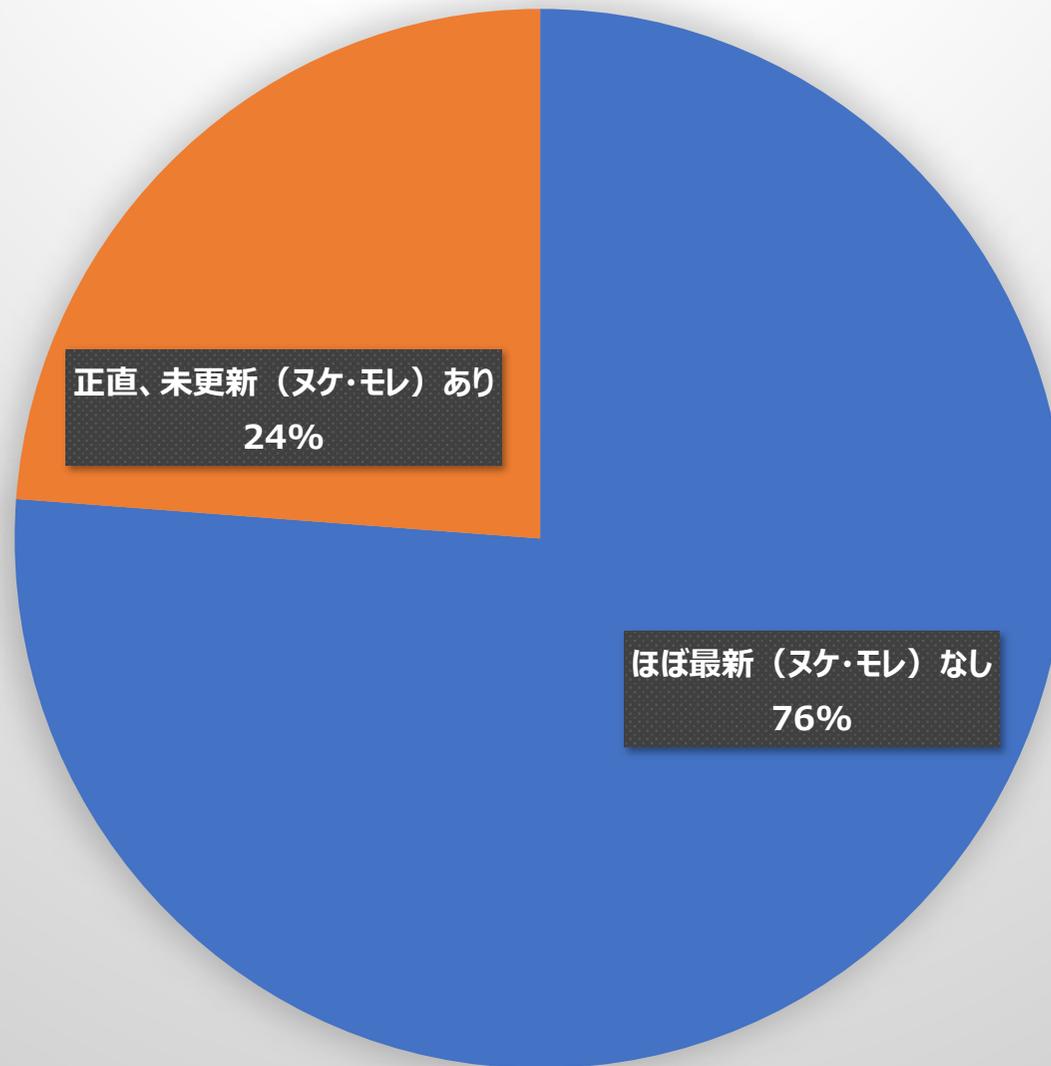
教育訓練の徹底、無事故違反記録の取得（個人情報として）、事故事例の活用等々

無事故無違反の運転手は、年々多くなっています。

違反者はここ数年減少している

---

## 運転者台帳最新状態でしょうか？



## 「運転者台帳」に關しまして現状をお聞かせください。

---

退職者も 3年以上保管しておあります。

ほぼ更新しているが、一部に抜け有り

定期的に台帳の監査をしている。

更新がなかなか実施できていない

毎年2回の健康診断や、免許更新の都度確認

特に問題ありません。

監査がある前に更新しています

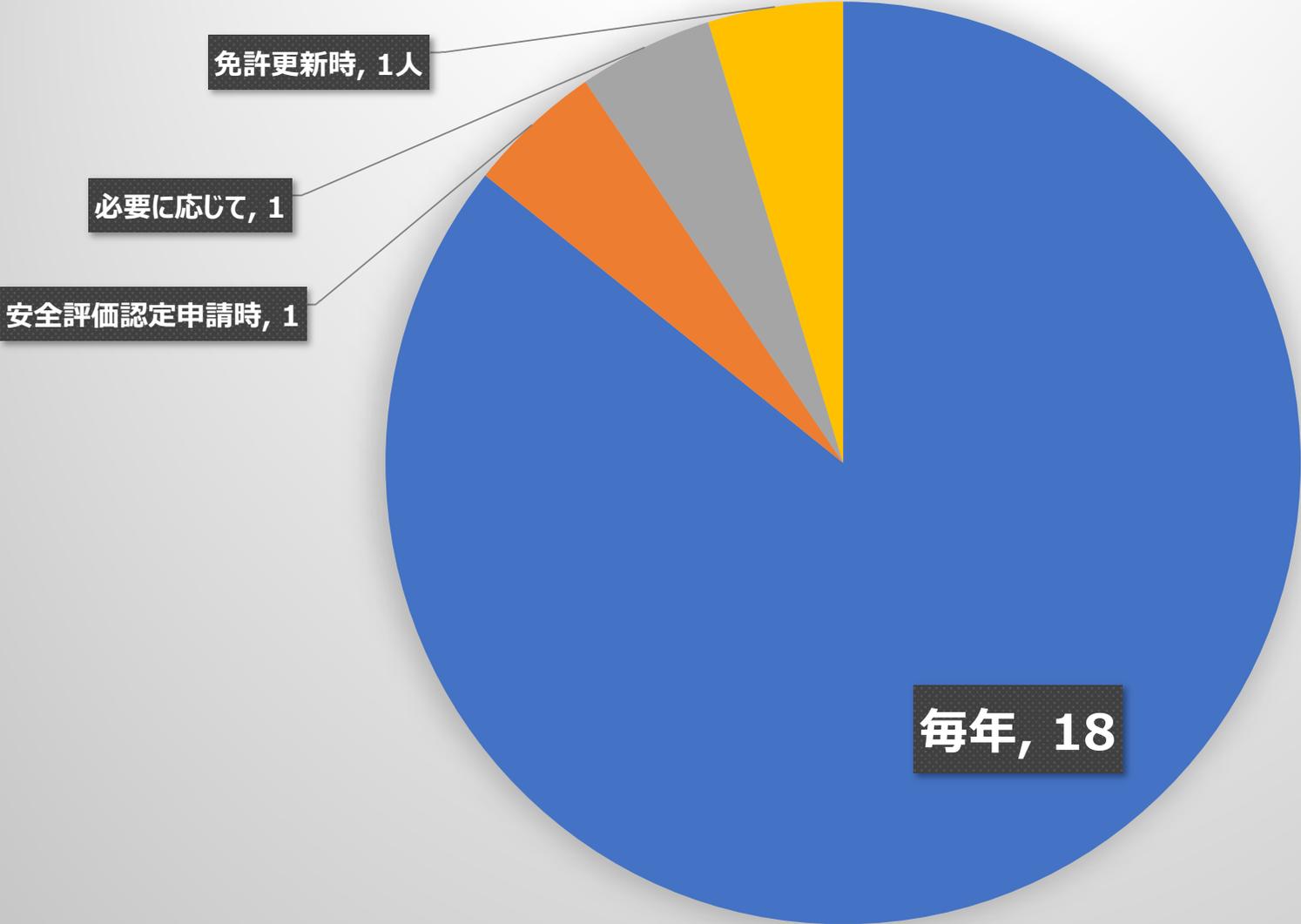
データ化を模索中

普段から、エクセルで更新しております。

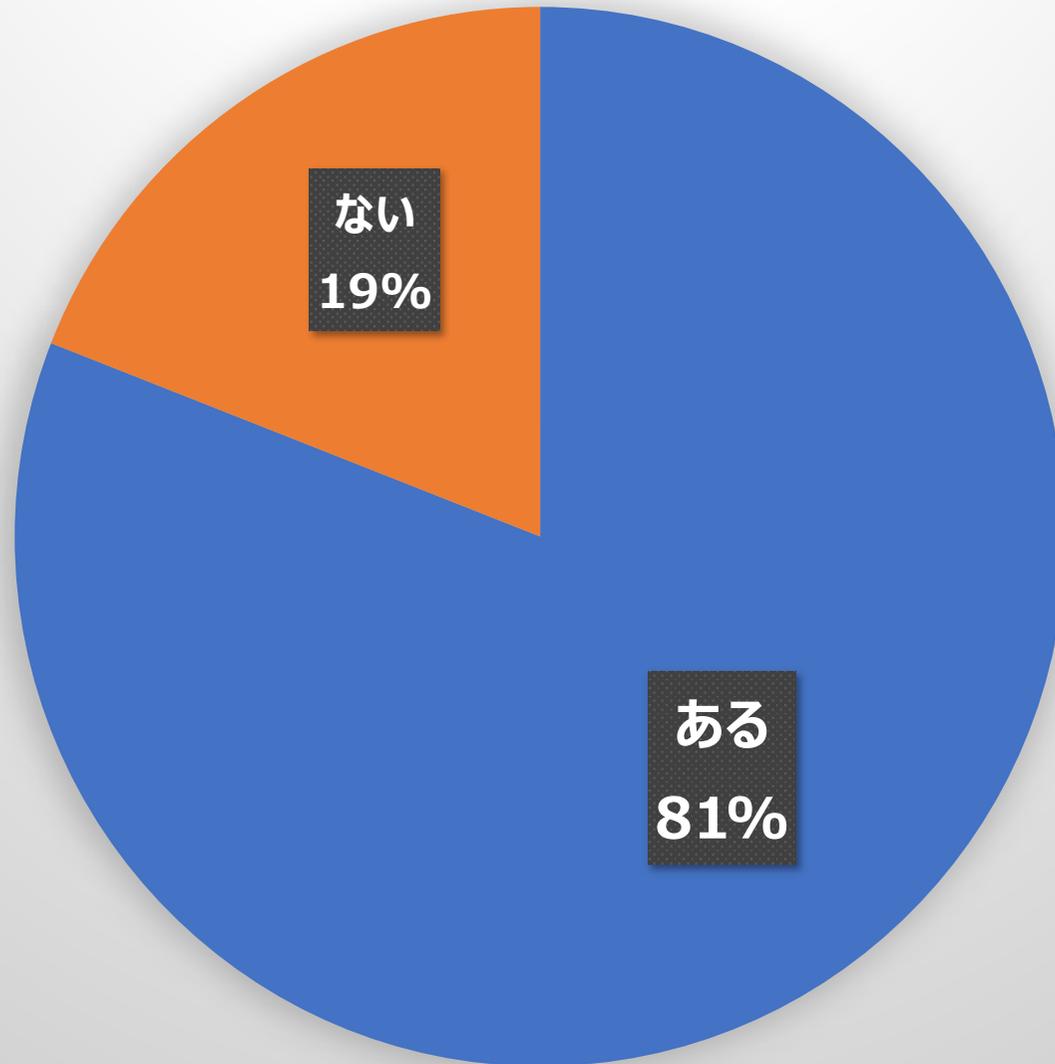
労務システムで運用

---

### 運転記録証明の確認頻度は？



## 指導監督の告示1366号の年間計画はありますか？【必須】



## 告示1366の計画の具体的な内容は？

---

年間計画を立てている。

毎月1項目ずつ乗務員教育で実施している。事故違反が多い月は別途教育を実施している。

計画通り実行中

毎月1項目ごと12ヶ月で振り分けている。

計画を立てています。（方針・安全・車両など）

計画を検討しております

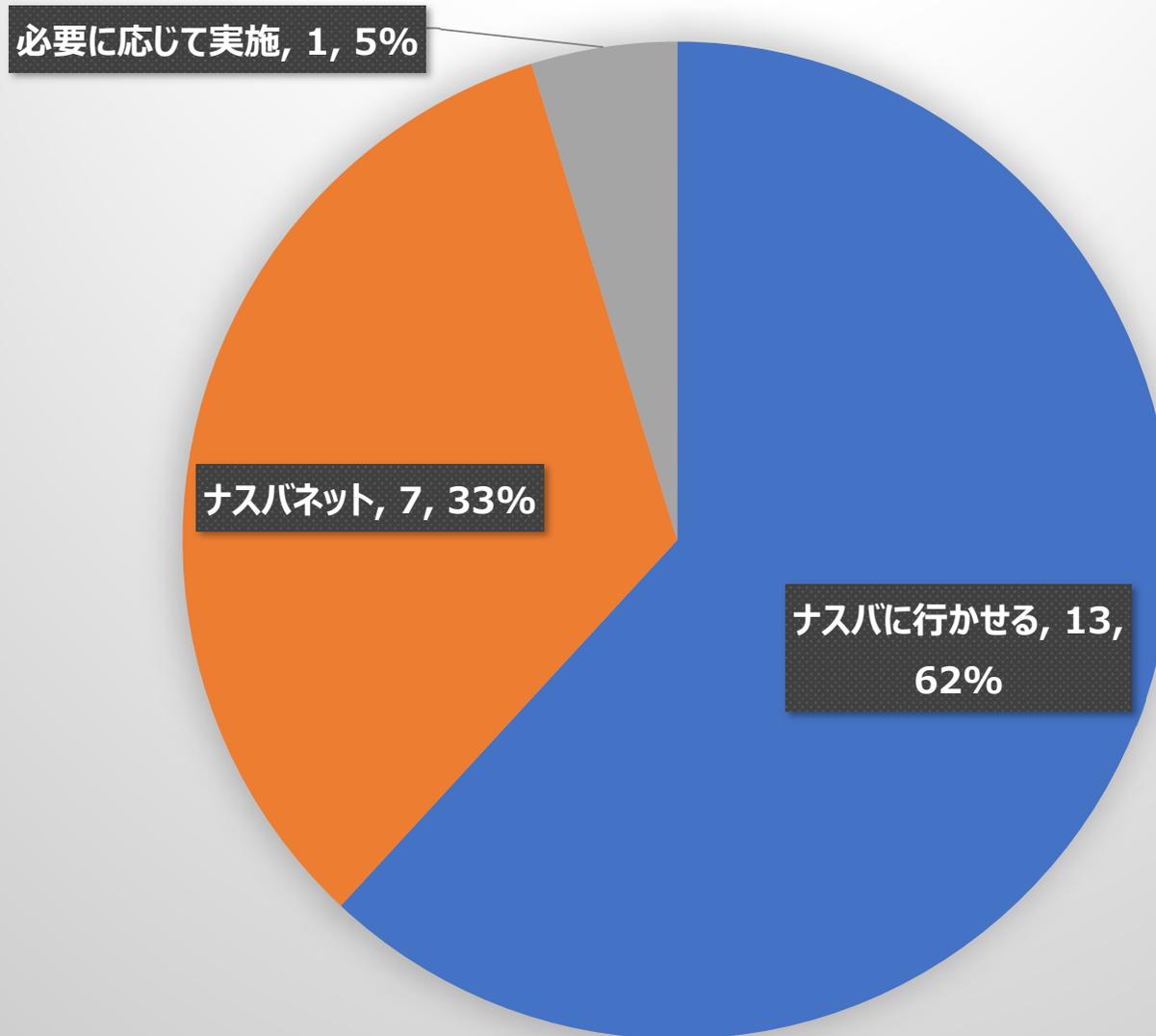
加えて、社内独自の教育内容を実施している

年間計画表にその時期に見合った項目を教育出来るように当てはめて作成しております。

以前に策定してたが止めた。来期から再開する

---

## 一般診断（事故惹起・初任・高齢以外）は、どのように実施されていますか？



## 「一般診断（事故惹起・初任・高齢以外の診断）」に関して現状をお聞かせください。

---

確実に 実施しております。

特に定期的には受診していないが、ナスバ以外の適性診断を使用している。

ナスバに行かせているが、日程調整が難しい。

実施できている

特に有りません。

予約と時間がかかることが困っています

ドライバーは、毎年一般診断を行っています

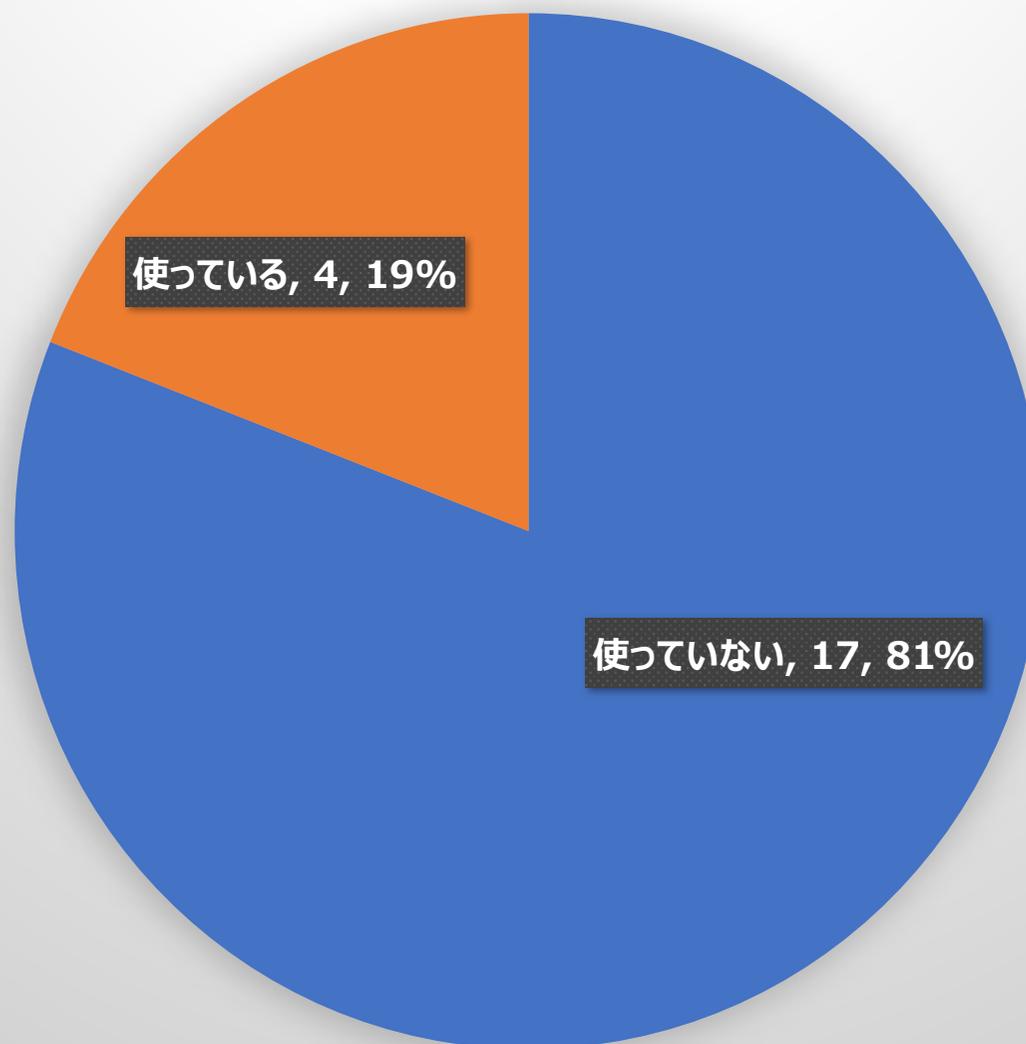
三年毎に全員受診（保険会社の機材を活用する場合もある）

ナスバが最寄りにあるので、現状何も問題ありません。

工数が掛かる

---

## 自社でドライブシミュレータを使っていますか？



## 自社でドライブシミュレータ使用のご予定は？

---

興味はある

導入に興味があるが、金額しだい。

検討していない

検討していません。

興味ありません

検討していない

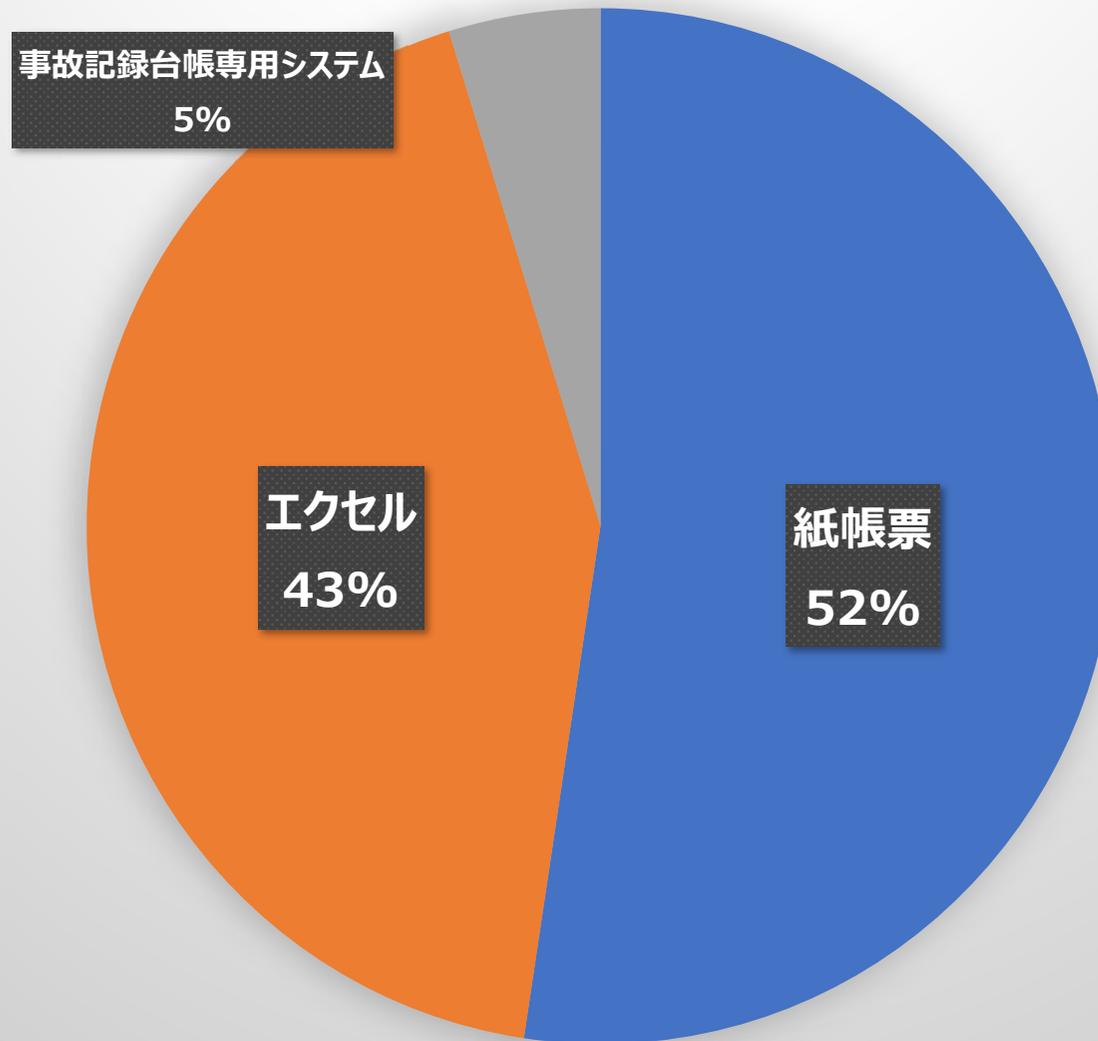
検討中？

今のところ、従業員が少ないので全く考えておりませんが、必要に応じて考えていくと思います。

実技講習が効果的

---

## 事故台帳の管理方法についてお聞かせください



## 事故台帳の管理方法に関しまして現状をお聞かせください。

---

運転台帳に記入

日付順に保管しているが、ドライバー別にインデックスを作成するのが煩わしい

PCを使えない人も多いため、紙帳票と並行するしかない

困り事はない

労務管理と併用した専用システムで管理したい。

更新がおろそかになっている

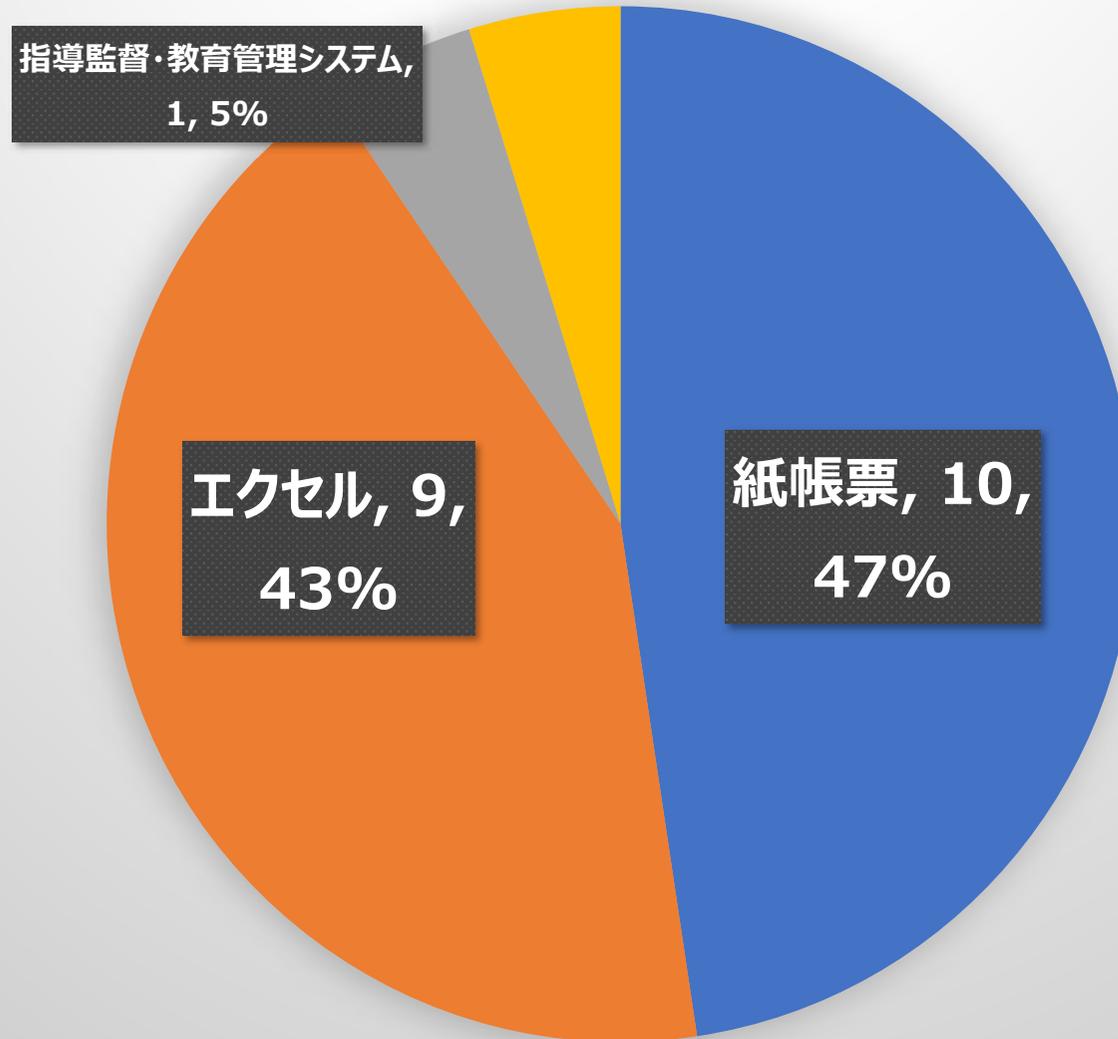
システム化は必要と考える

今のところ問題はありません。

データ分析

---

指導監督履歴の管理方法をお聞かせください。



## 指導監督履歴の管理方法について、お困りごとは？

---

事故記録と同じ

誰が受けて誰が受けていないのかが分からなくなることがある。

困り事はない

展開できていない

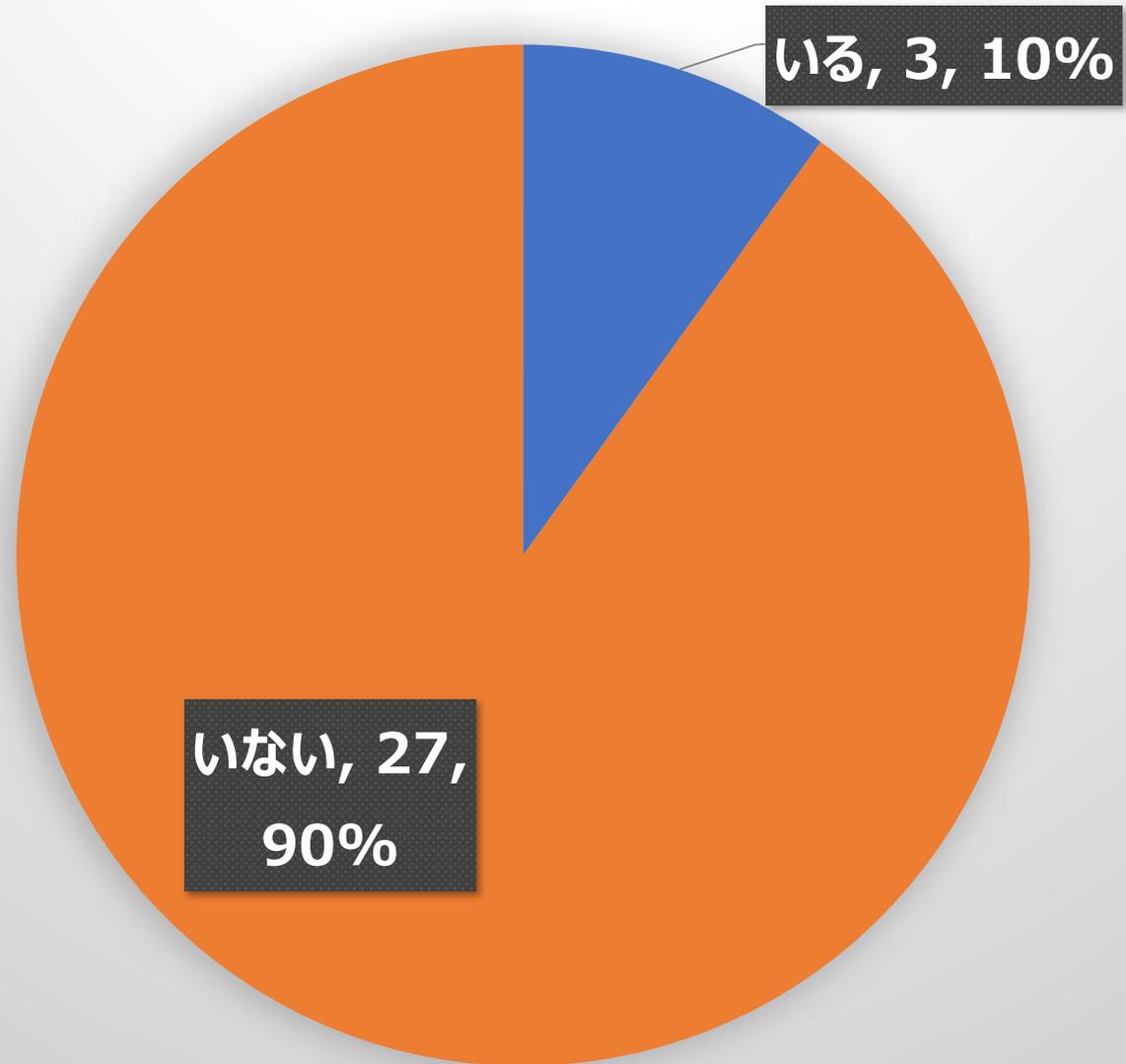
全員受講のために、手間と時間がかかっている

事業が変則的なので、教育の為に確実な時間が抑えにくい。

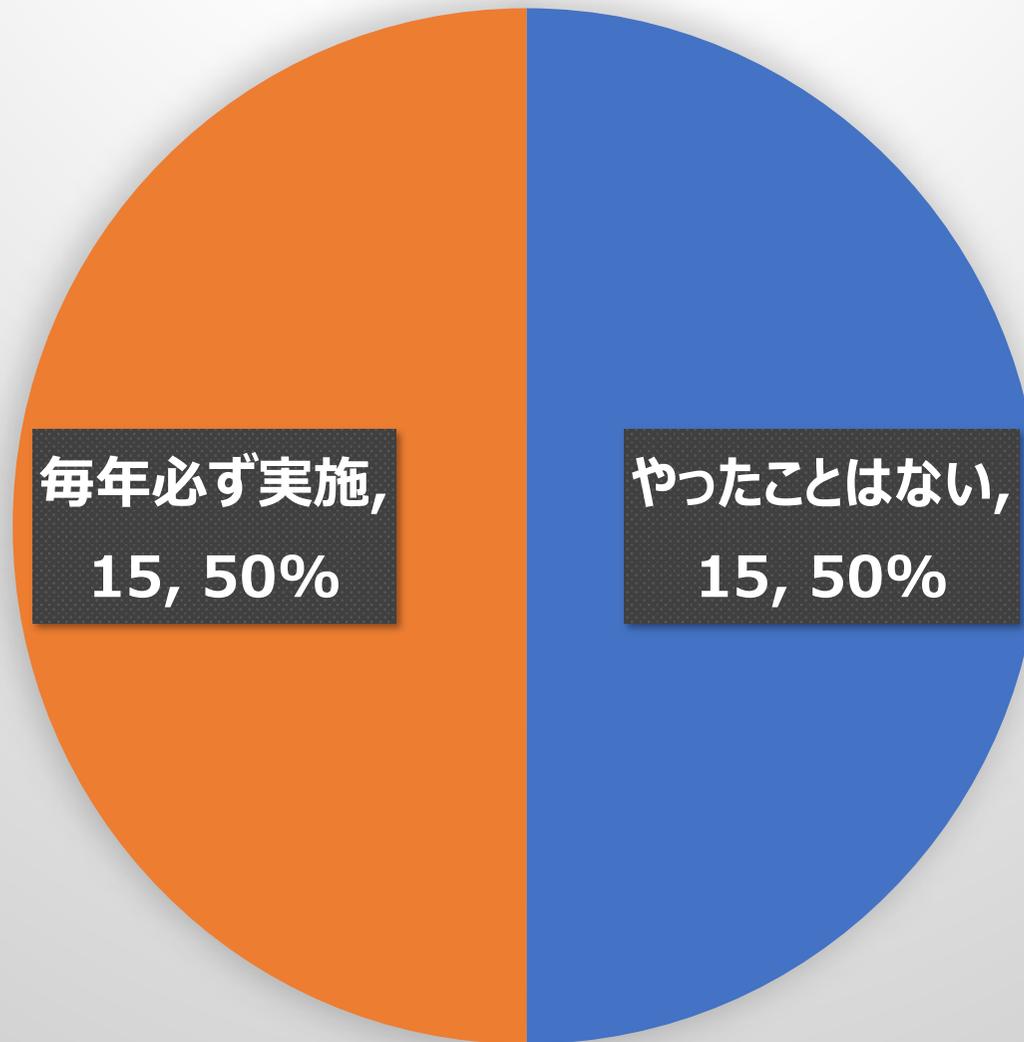
なし

---

社内に飲酒運転防止インストラクターはいますか？



## 飲酒運転教育を毎年実施していますか？



## 【飲酒運転教育】に関して現状をお聞かせください

---

ASKの教材を使い教育しています

新入社員へはアルコールの単位と時間は指導済み。

御社のアルコールチェッカーを導入し、ルールを定めてからずいぶん良くなった。

アルコールチェック違反したドライバーに教育しているが、あまり効果があるようには思えない。資料がない。

早朝点呼でアルコール検知器に検知されるドライバーがでた。その日の業務が不可となる。通勤時は酒気帯び運転にあたる。通勤時とは就業時間内になる。

乗務員の出退勤時間がバラバラのため、一斉に集めての教育が難しく、動画を用いた教育を行いたいが尺がながいため、人数によっては時間がかかりすぎる

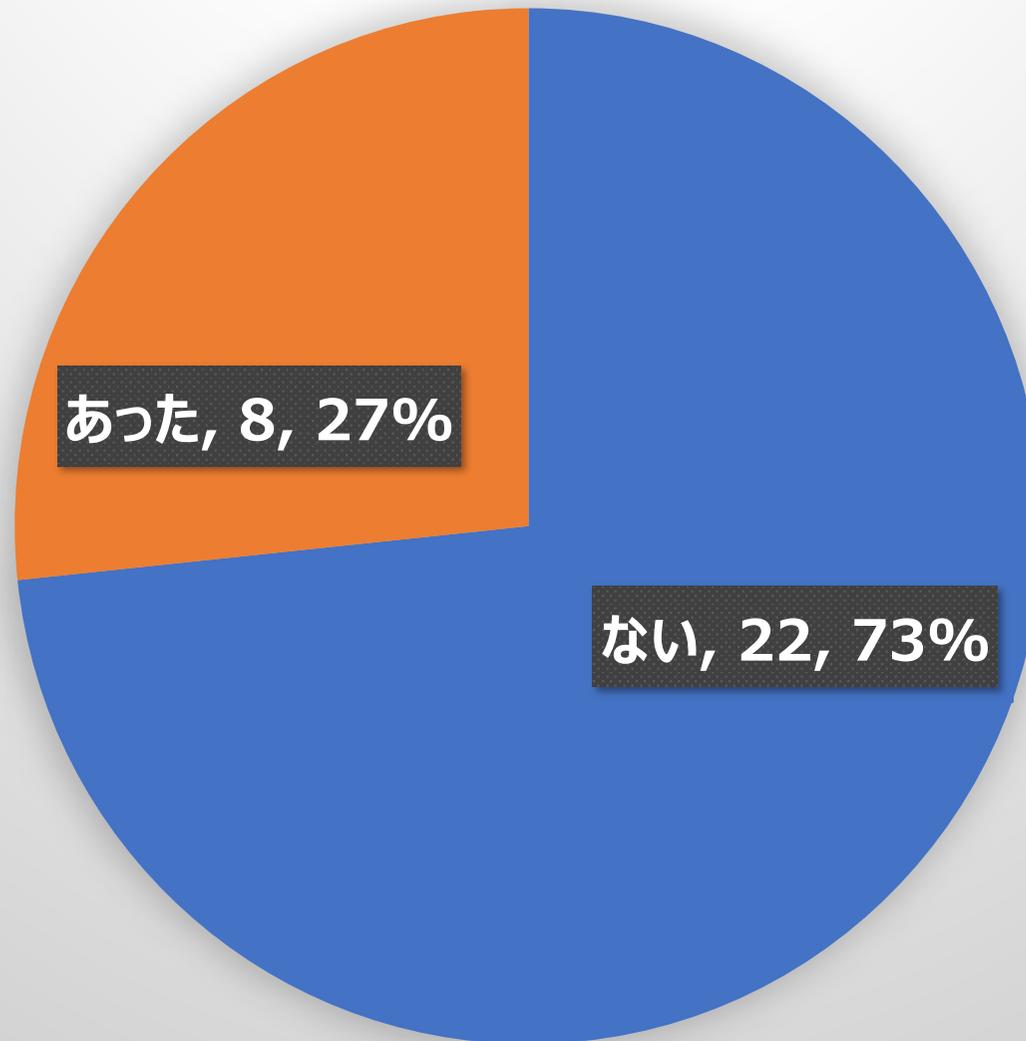
検知器で反応者が出てしまった。

車内 安全講習で 安全目標 達成度 また 市の交通課の方の 講習で含まれております。

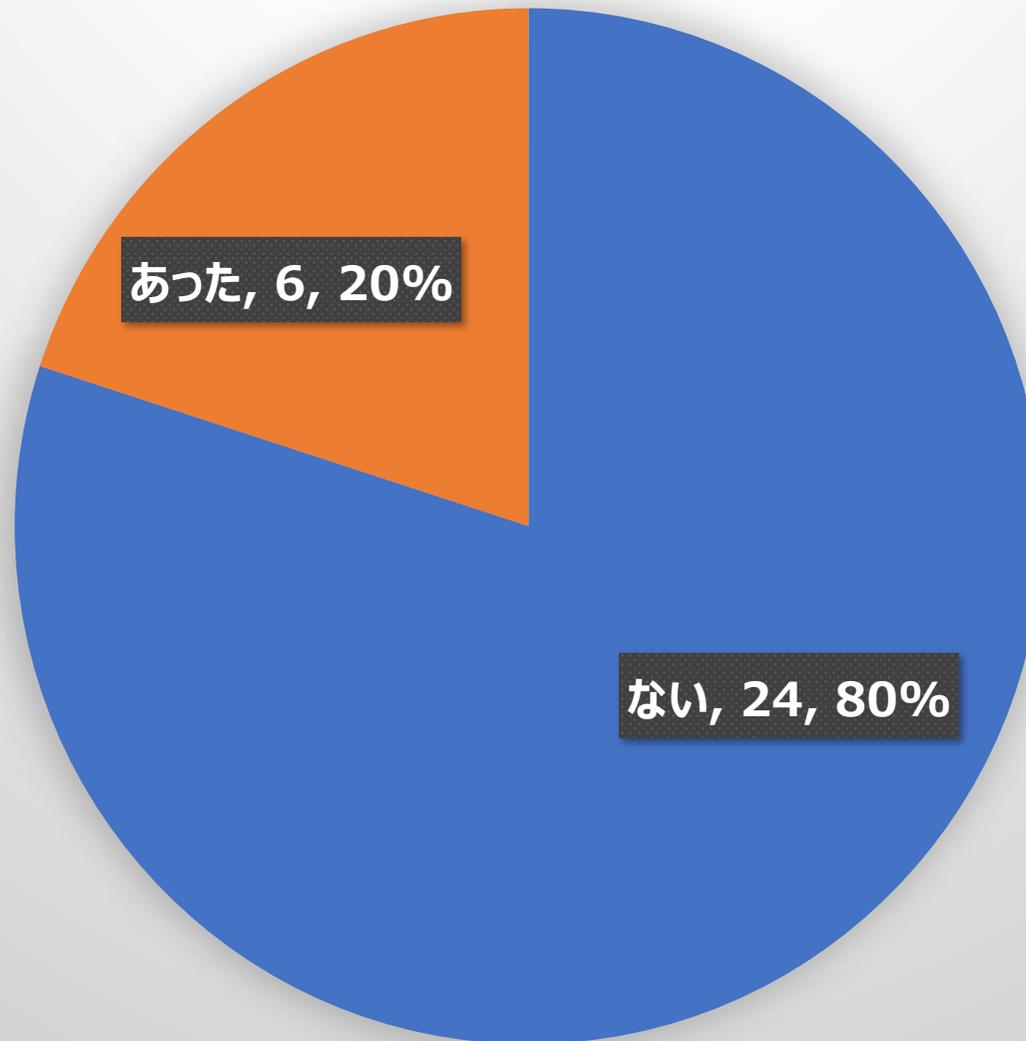
ドライバーミーティングなどでは飲酒運転について教育しています。

---

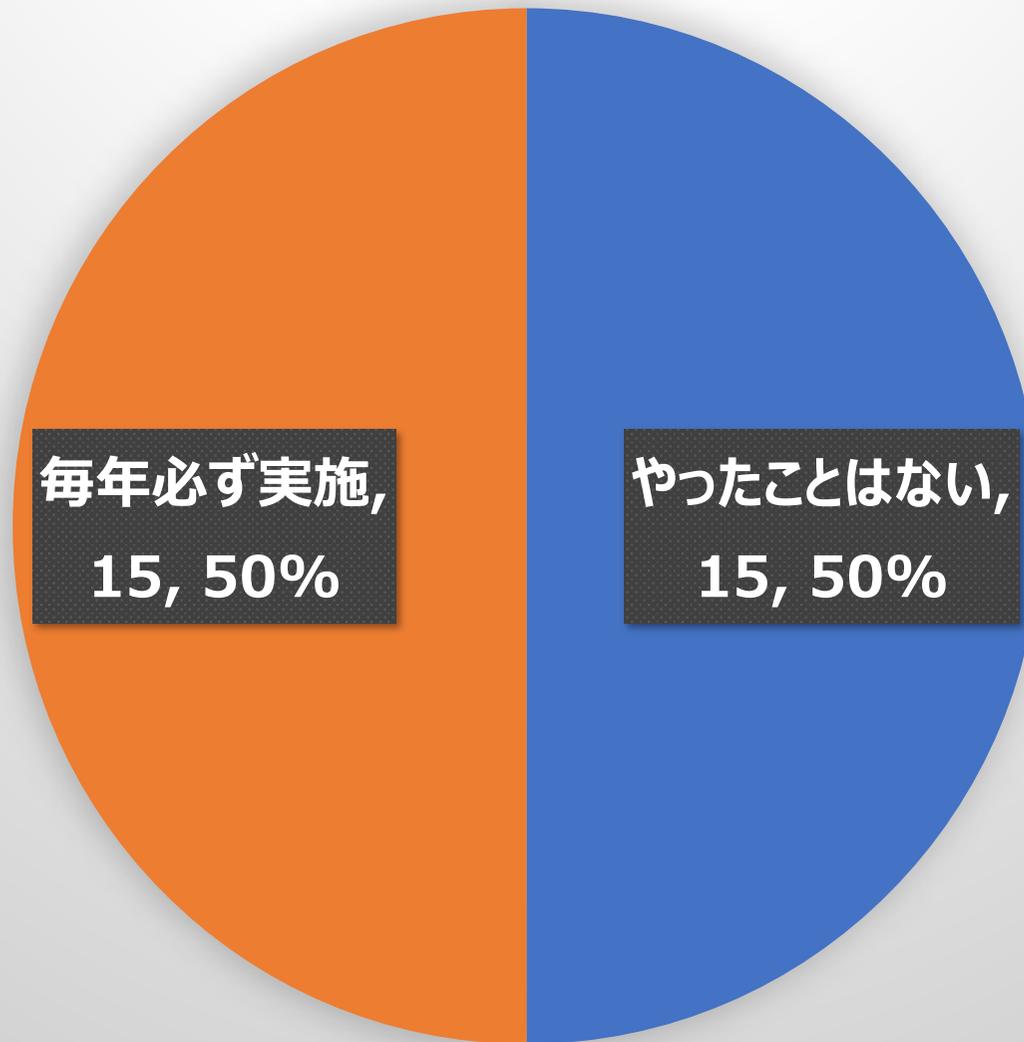
正直、運行中の飲酒運転が過去にありましたか？



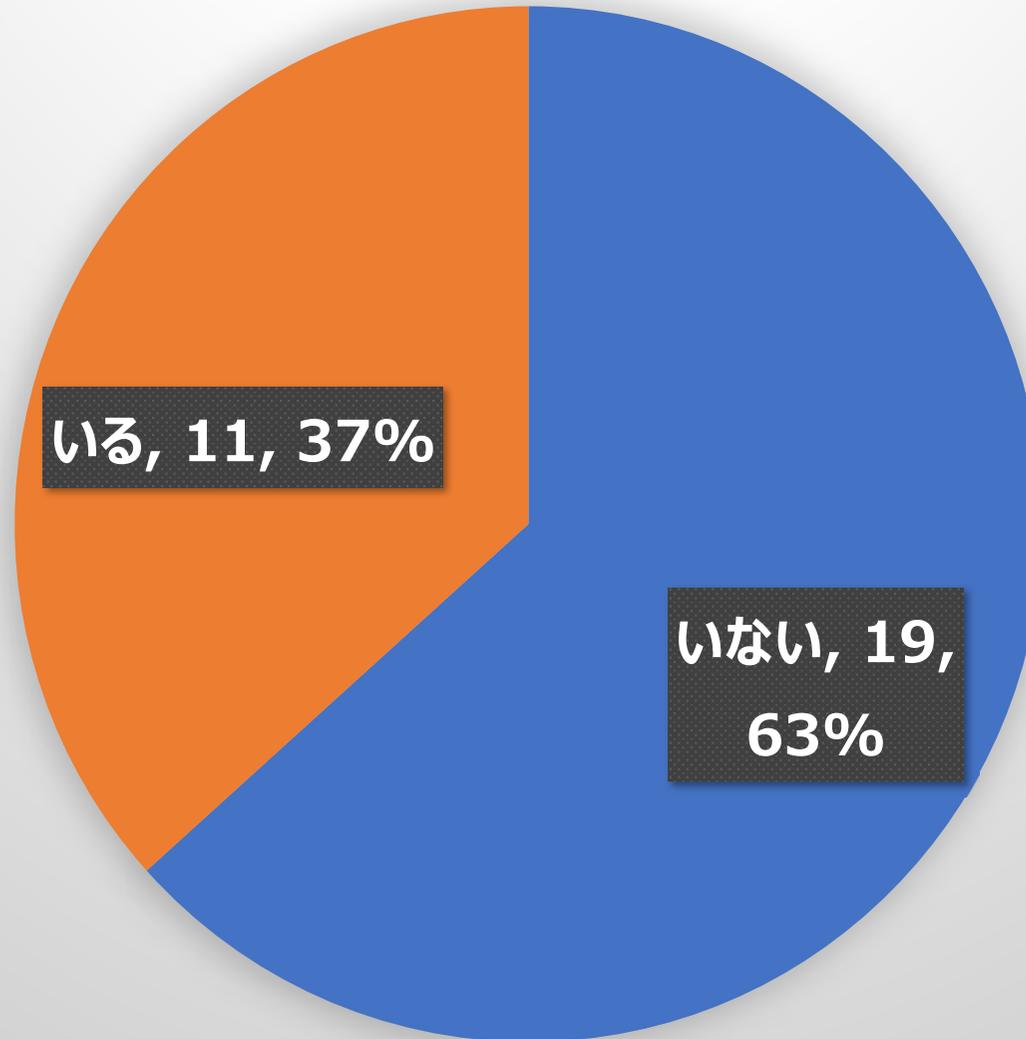
## ドライバー以外の従業員の飲酒運転が過去にありましたか？



## 飲酒運転教育を毎年実施していますか？



身近に問題飲酒者（毎日3単位以上or拳動がおかしい等）はいますか？



## 【問題飲酒者（毎日3単位以上or拳動がおかしい等）】に關しまして現状をお聞かせください

---

遅刻を頻繁にする

元義父が、家族の忠告を無視して、毎日ほとんど食わずに多量飲酒していた記憶があります。年齢より相当老いた印象でした。

会社を辞めることになっても、酒はやめられないというドライバーがいる。現在は少しずつ量を調整している。

やたらと酒を強要する。

上記に記載したように今後のドライバー教育等に役立てていきたい。

最近、点呼時のアルコール測定で検知された乗務員が3人程度出たが、その者たちは自家用通勤だったため、通勤時に酒気帯び運転をしていたことになる→家を出る前に検査させたい

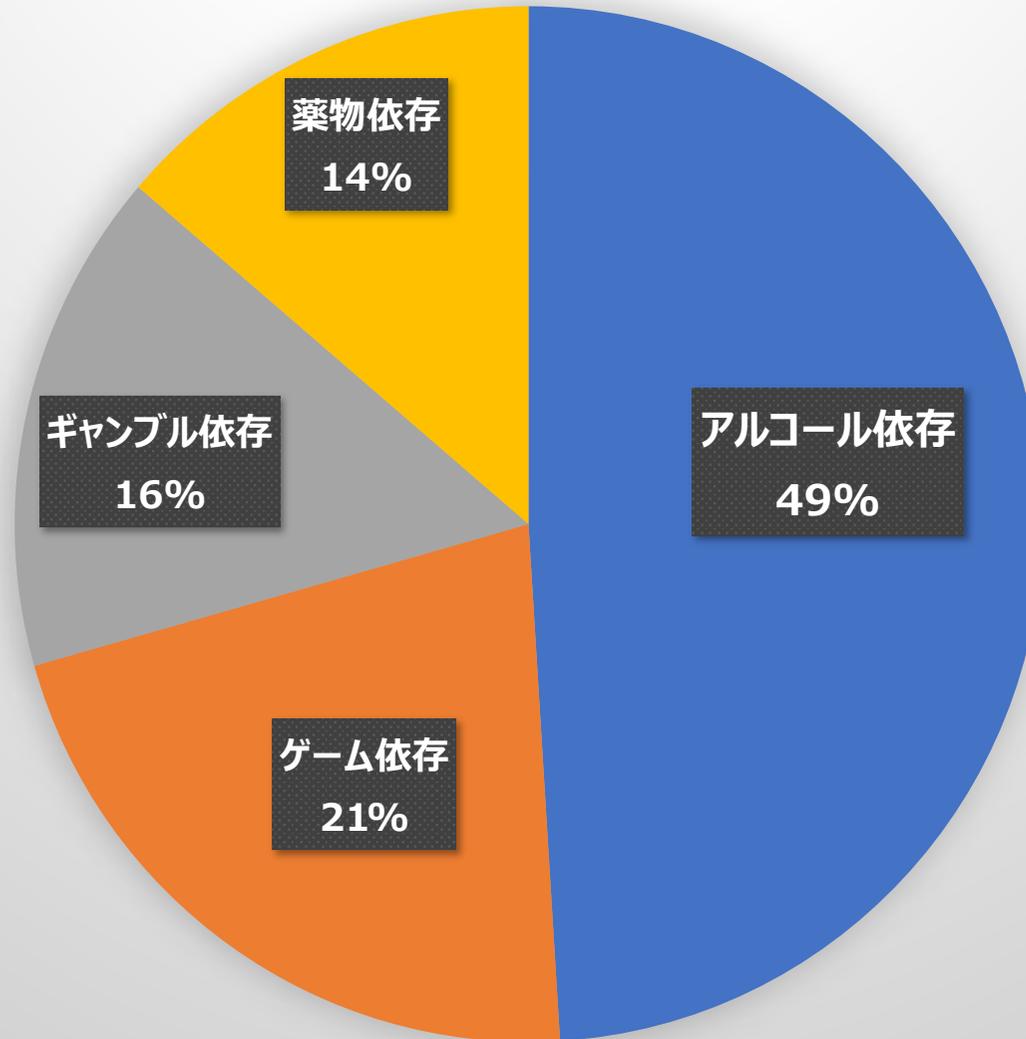
運転前にアルコールチェックにかかる者が数名いた。

何も問題はない

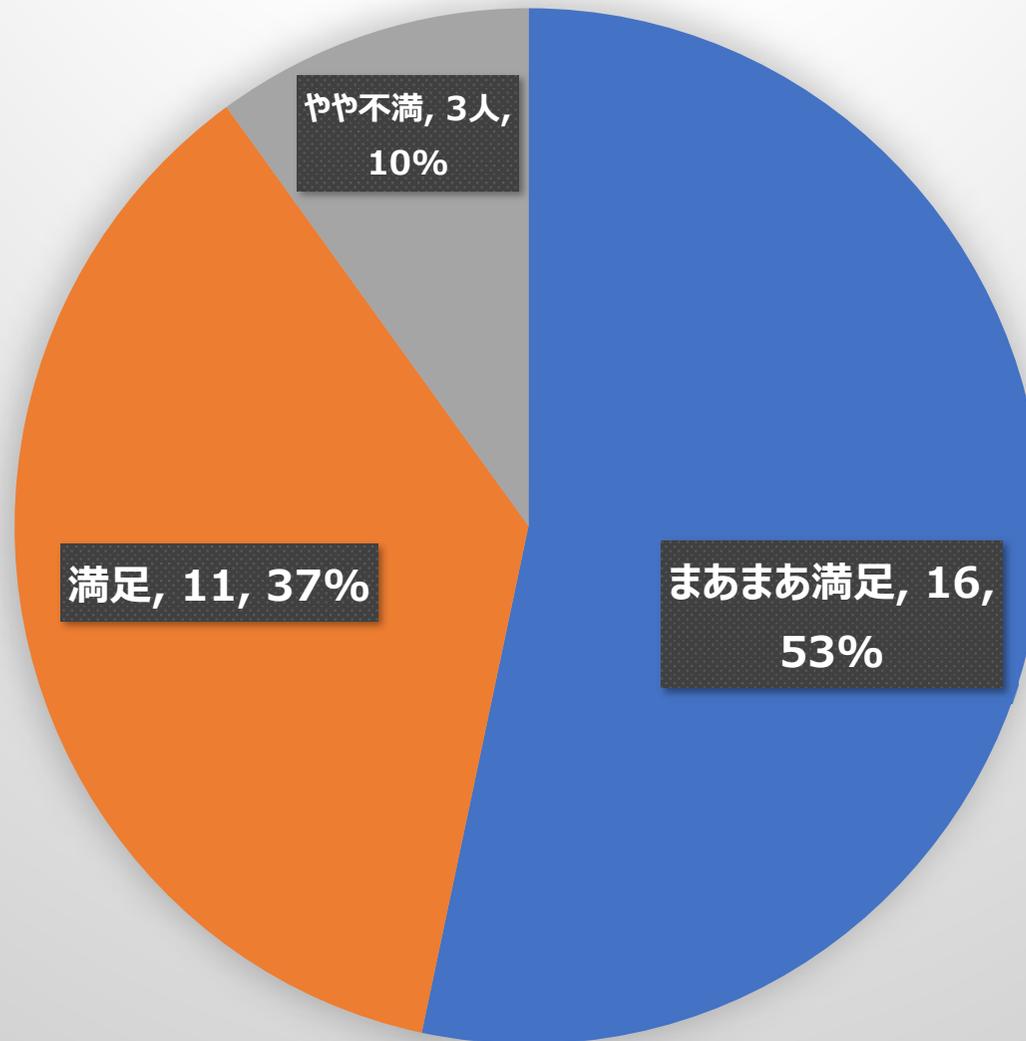
最低 8時間は取っておりますが、聞いた話では 毎晩 500mlを3本 飲酒している。でも アルコールチェックでは、何の 問題もない。

---

## 依存症問題のうち興味のある内容をお聞かせください



### 「講座3 運行管理者の業務と飲酒運転防止教育の手法と教材について」 ご感想を



## 講座3 運行管理者の業務と飲酒運転防止教育の手法と教材について ご感想を

---

内容は良いと思うが、講師の声が聞き取りにくかった。

ドライバーのみならず全社員教育を、ということが印象的でした。

気軽に飲酒しておりましたが、「毒」と聞くと気になりますね！  
まずは、1単位/日を基本にして、休館日2日/週を啓蒙したいと思います。  
私自身も？

今後の毎月行っている安全会議やドライバー教育に生かしていきたいと思います。

通信状況が悪く、聞き取りにくい部分があった。アルコールの知識より、もう少し酒気帯び運転防止に関する方策に時間を割いて欲しい。

自家用通勤者が家を出る前にチェックできるようなエビデンスが残せるタイプの携帯型ALCチェッカー（安価なもの）の提案が欲しい

判りやすい説明で良かったです。スクリーニングについてももう少し詳しい情報があれば良かった。

私も 以前は 飲酒しておりましたが 断酒は 難しいので 統計的なのは納得です。

今後の教育資料に活用していきたいです。

---